



2024年3月期 第3四半期決算



極東開発工業株式会社
東証プライム:7226

1. 会社概要	P2 ~ 9
2. 2024年3月期 第3四半期実績	P10~12
3. セグメント別実績	P13~25
4. 2024年3月期通期 業績予想	P26~39
5. TOPICS	P40~44

1. 会社概要

極東開発工業株式会社

12月末時点

連結子会社 11社
◎ 持分法適用会社 6社
○ 持分法非適用会社 1社

上記とは別途2023年度追加

※1 5月取得

※2 7月取得

特装車事業

日本トレクス

エフ・イ・オート

振興自動車

北陸重機工業

井上自動車 ◎

九州特殊モータース ※1

極東開発（昆山）機械

極東特装車貿易（上海） ◎

SATRAC

PT KYOKUTO INDOMOBIL
MANUFACTURING INDONESIA

PT KYOKUTO INDOMOBIL
DISTRIBUTOR INDONESIA ◎

Kyokuto Australia Pty Ltd ※2

海外拠点

環境事業

極東サービスエンジニアリング

極東サービスエンジニアリング北海道

モリプラント ◎

エコファシリティ船橋 ◎

エコファシリティ西宮 ○

パーキング等事業

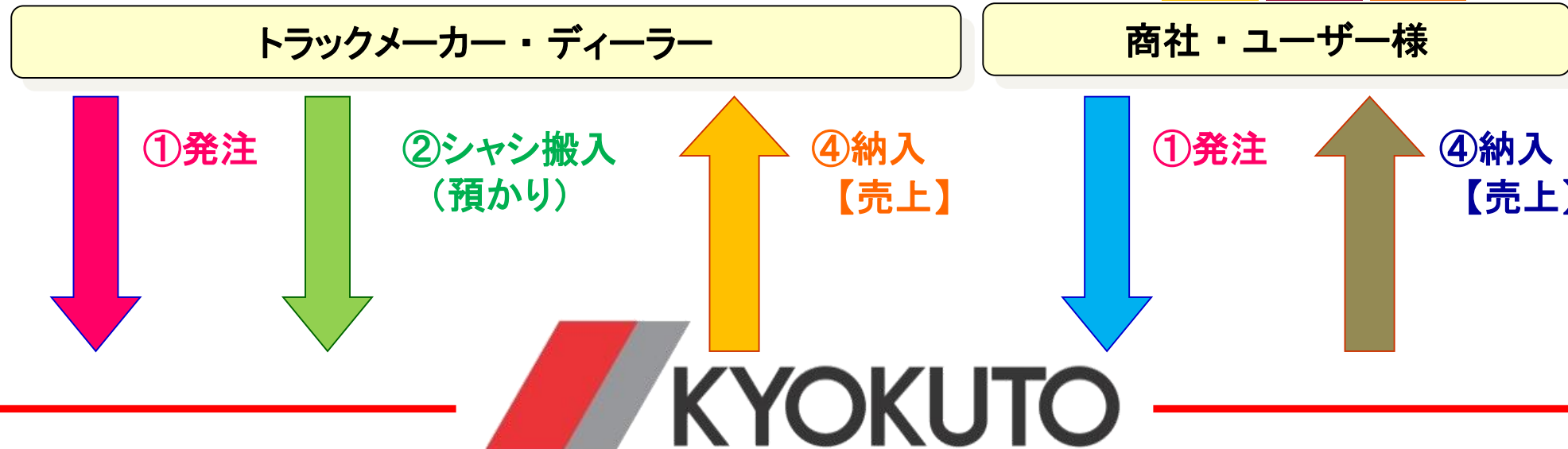
極東開発パーキング

ささしまライブパーキング ◎

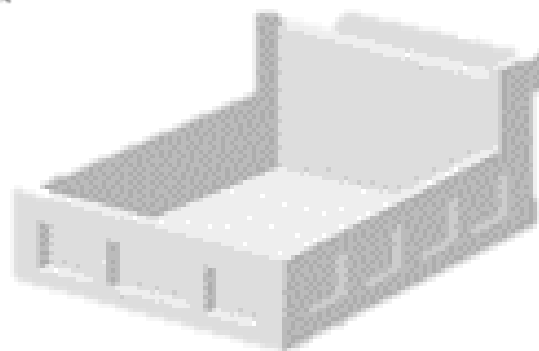
エフ・イ・イ

特装車事業について

※トラックへの架装の場合



トラックの車台(シャシ)



ボデー

③架装



完 成

※コンクリートポンプ車等一部の製品についてはシャシは買取。



コンクリートポンプ車



ダンプトラック

赤字:シェア1位製品
青字:シェア2位製品



1台積車輛運搬車



タンクローリ・散水車



テールゲートリフタ



ウイングボデー車



粉粒体運搬



ごみ収集車



脱着ボデー車



トレーラ

国内生産体制

KYOKUTO



三木工場

(兵庫県三木市)

- コンクリートポンプ車
- ごみ収集車
- タンクローリ
- 機能部品の内製

KYOKUTO



福岡工場

(福岡県飯塚市)

- ダンプトラック
- バン

KYOKUTO



名古屋工場

(愛知県小牧市)

- ダンプトラック
- 粉粒体運搬車
- テールゲートリフタ
- 散水車、タンクローリ

KYOKUTO



日本トレクス本社事業所
(愛知県豊川市)

- トレーラ
- バン

TREX



日本トレクス音羽事業所
(愛知県豊川市)

- ウイングボデー

TREX



日本トレクス御津事業所
(愛知県豊川市)

- スワップボデー

TREX

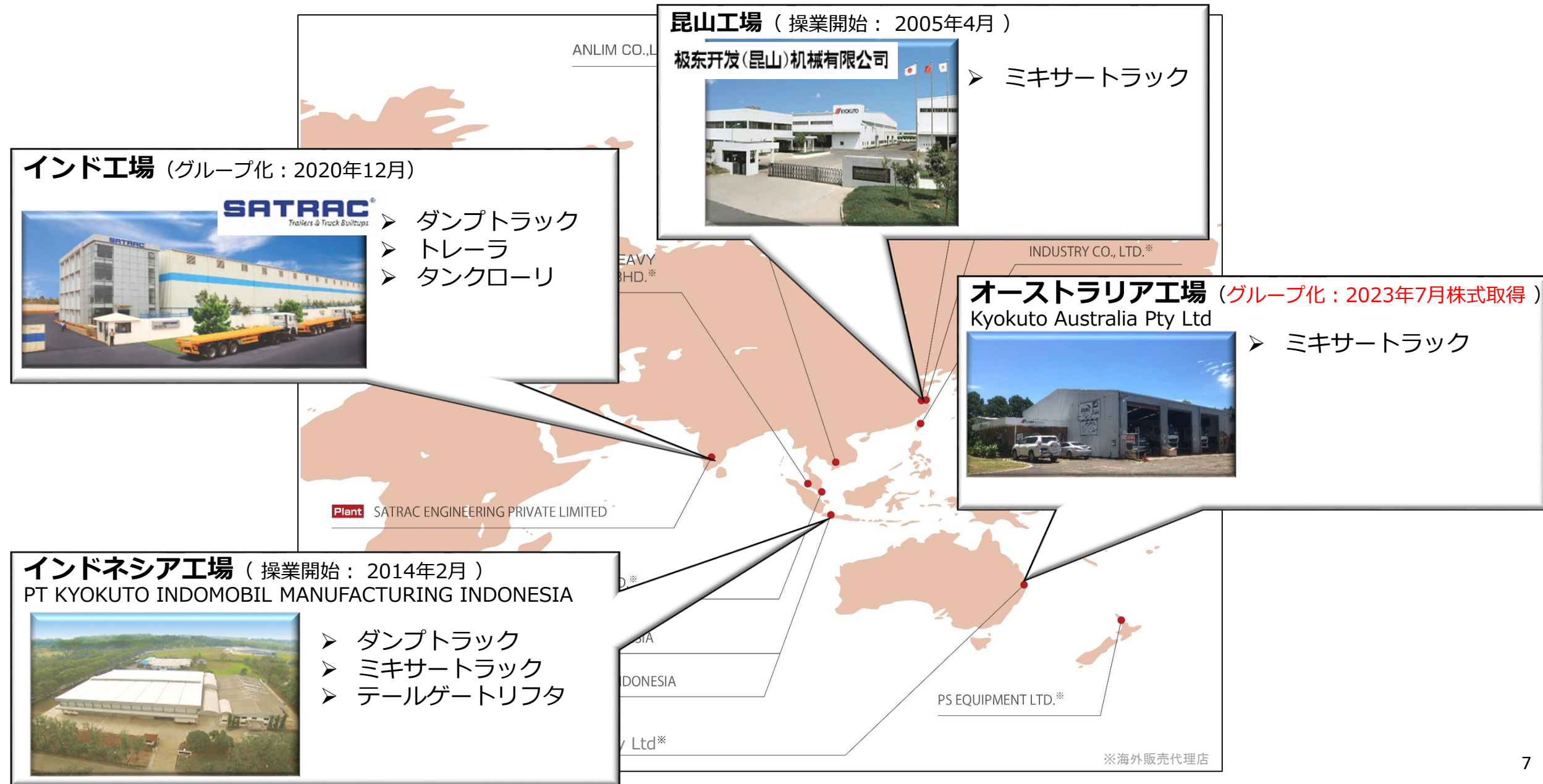


横浜工場

(神奈川県大和市)

- ダンプトラック
- 脱着ボデー車
- 1台積車輛運搬車

KYOKUTO



環境事業について



自治体

広域組合

廃棄物処理関連企業

発注

発注

プラント建設
設備据付

運転受託
メンテナンス



全国 203 箇所の納入実績
※2023年12月末

全国 37 箇所で運転を受託中
※2023年12月末

競合会社

クボタ、メタウォーター、川崎技研、川崎重工、協和エクシオ、新明和工業 等

パーキング等事業について

【立体駐車装置】

ゼネコン

デベロッパー

マンション管理組合

発注

立体駐車装置の製造



全国 90,879パレット
※2023年12月末

発注

メンテナンス
リニューアル

競合会社

日本発条、新明和パークテック、IHI扶桑エンジニアリング 等

【時間貸駐車場】

土地オーナー

利用者

賃貸

土地賃貸料

P.ZONE®



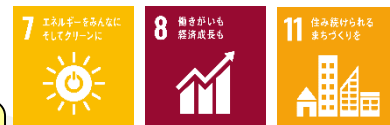
全国 71事業地
12,047車室
※2023年12月末

コインパーキング用地は自社保有ではありません

利用料【売上】

競合会社

タイムズ24、日本パーキング、三井不動産リアルティ(リパーク)、日本駐車場開発 等



2. 2024年3月期 第3四半期実績

決算期 百万円	2023/3期 3Q	2024/3期 3Q	増減	(増減率)
売上高	78,517	90,311	+ 11,793	+15.0%
営業利益	207	2,161	+ 1,954	+941.1%
経常利益	345	2,686	+ 2,341	+678.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	582	1,454	+ 872	+149.8%
特装車事業 受注高	73,938	65,580	△ 8,358	△11.3%
特装車事業 受注残高	78,700	83,173	+ 4,473	+5.7%

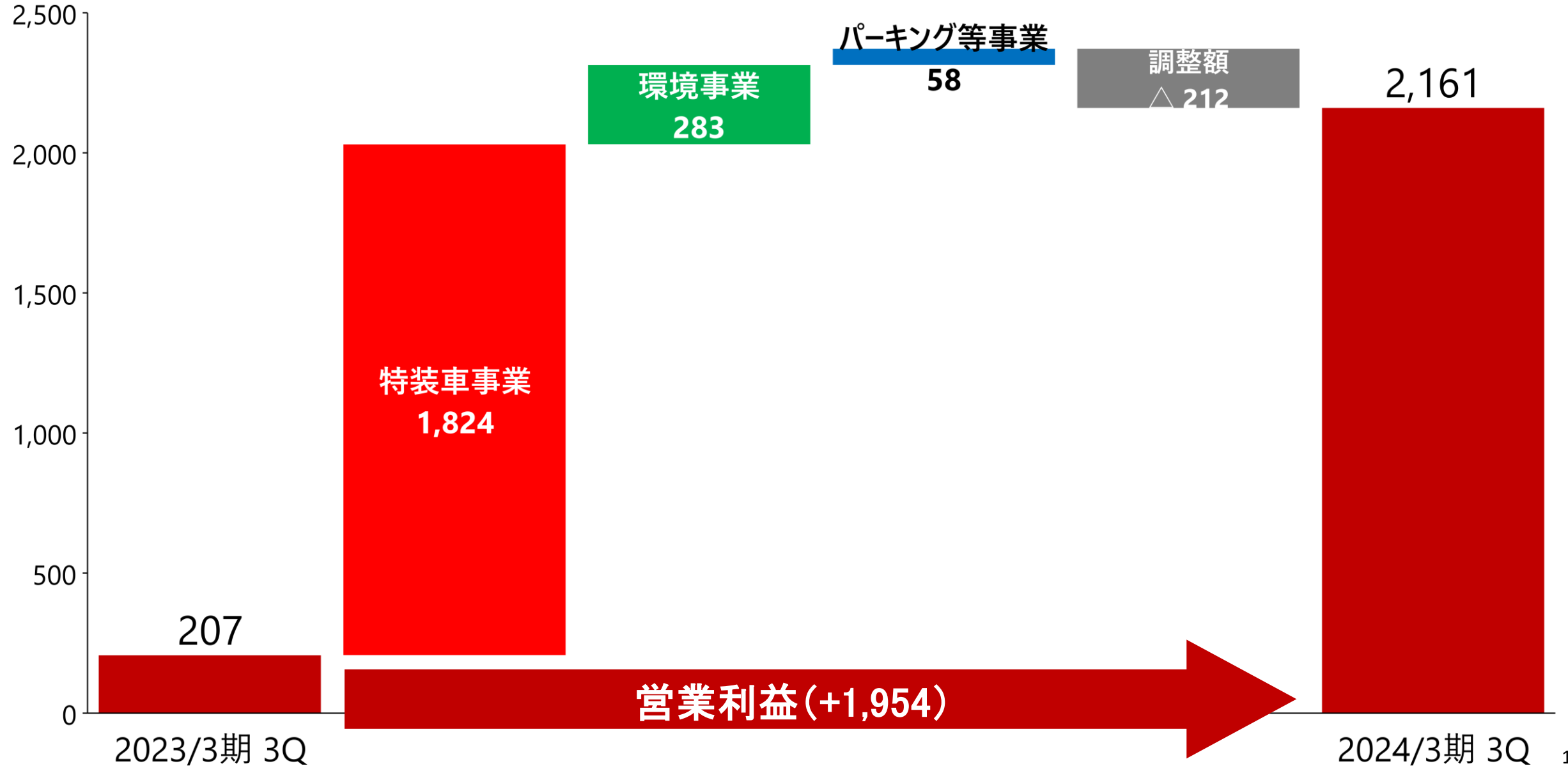
2024年3月期
第3四半期
連結決算のポイント

- ✓ 特装車事業の損益が回復し、徐々に正常化
- ✓ 環境事業が大幅な増収増益
- ✓ パーキング等事業も増収増益

連結営業利益増減要因（セグメント別）

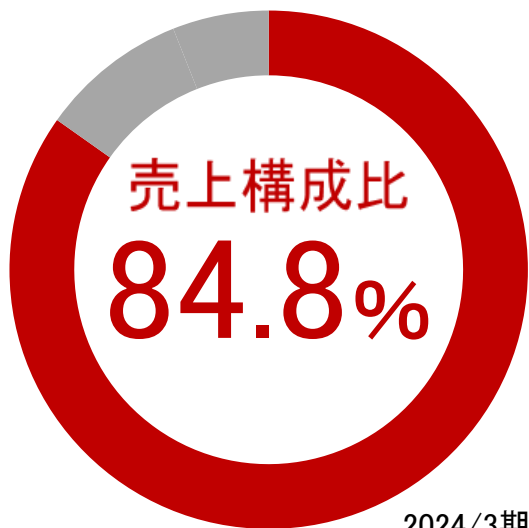


(百万円)



3. セグメント別実績

特装車事業



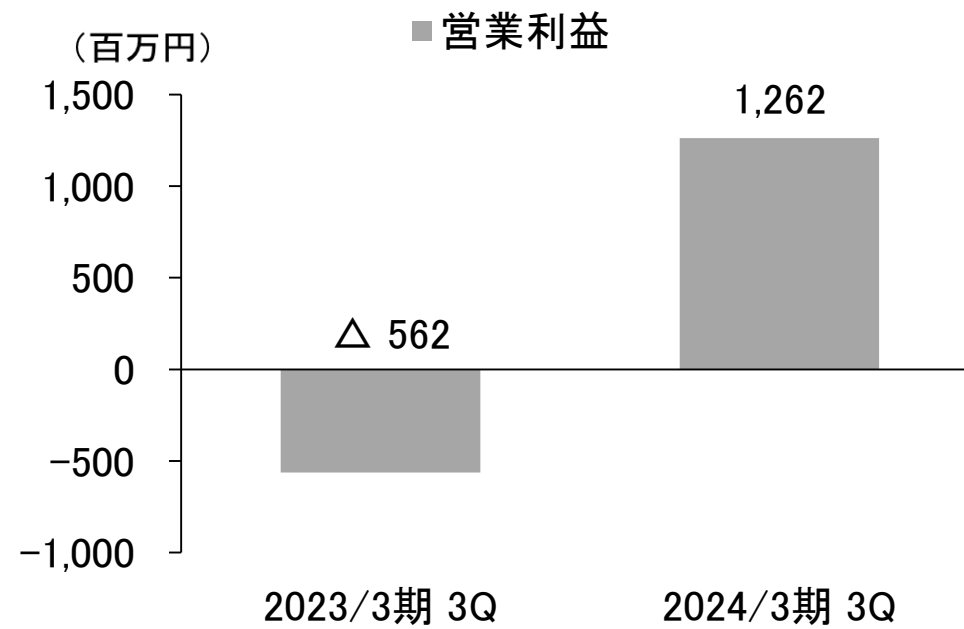
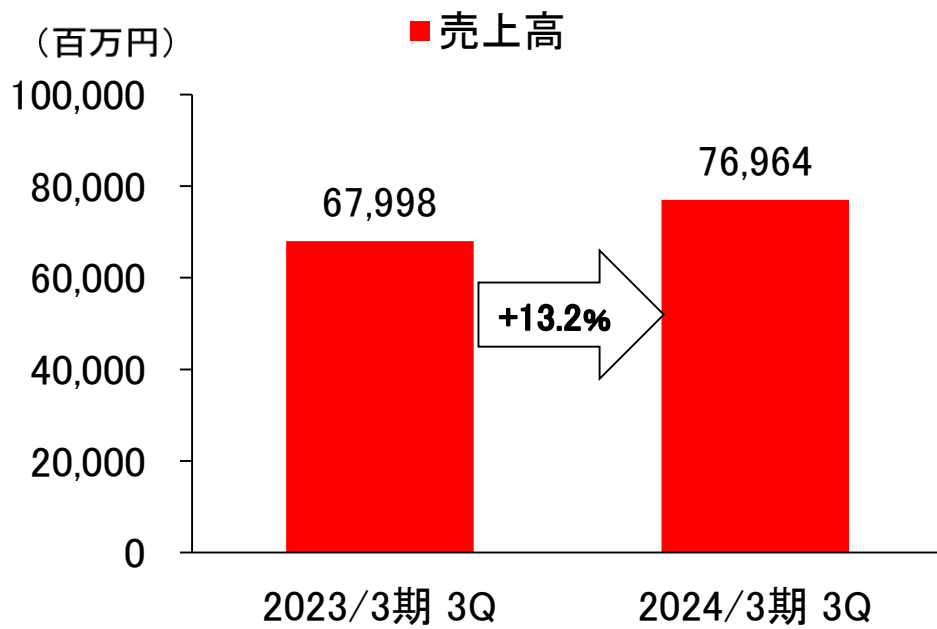
2024/3期 3Q時点

売上高 (+13.2%)

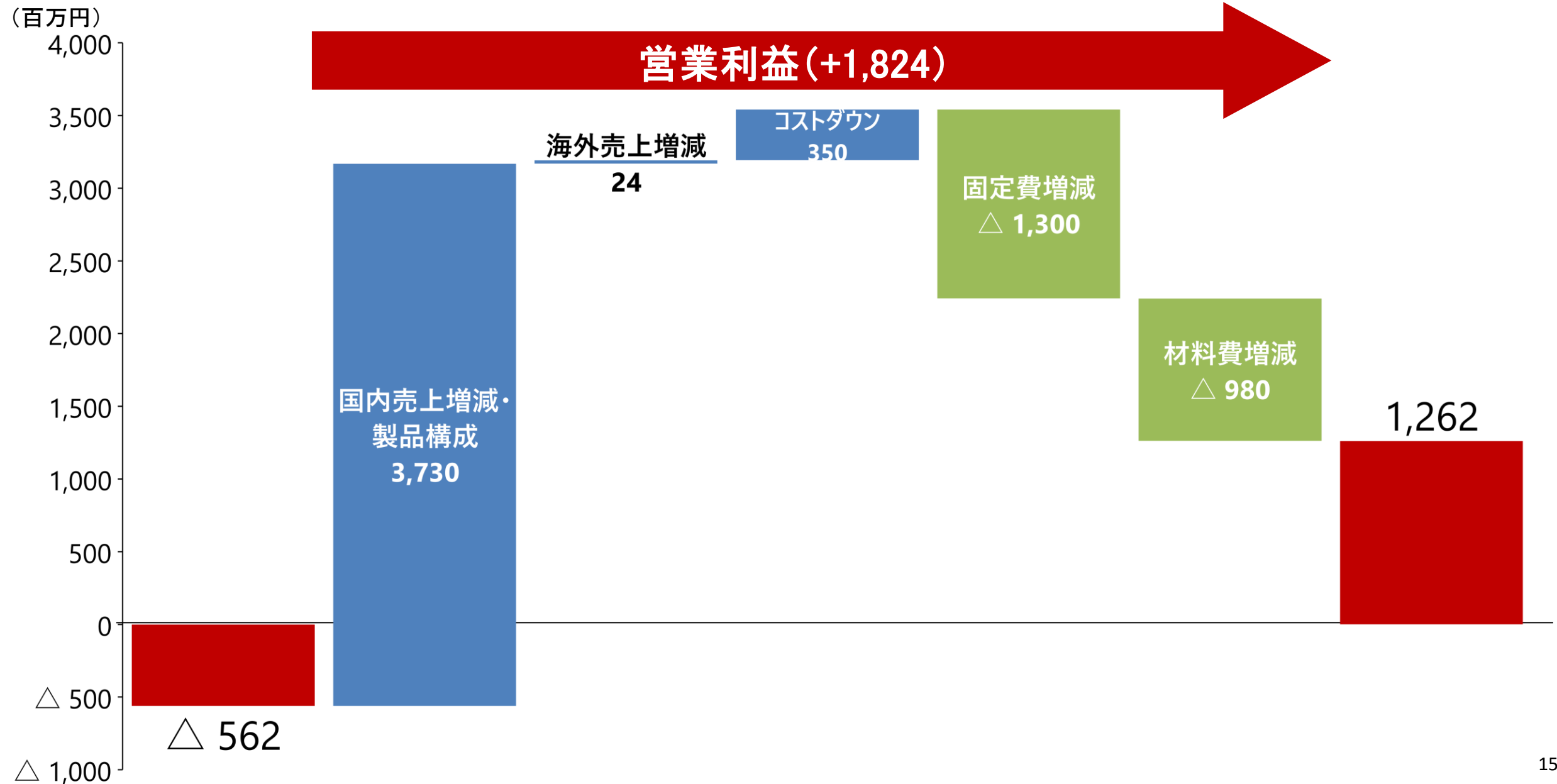
- ↑ 半導体不足等に伴う国内トラックシャシの供給遅延が徐々に改善
- ↑ 国内・海外(インド、インドネシア)ともに好調 → うち海外売上 24%増加

営業利益 (-)

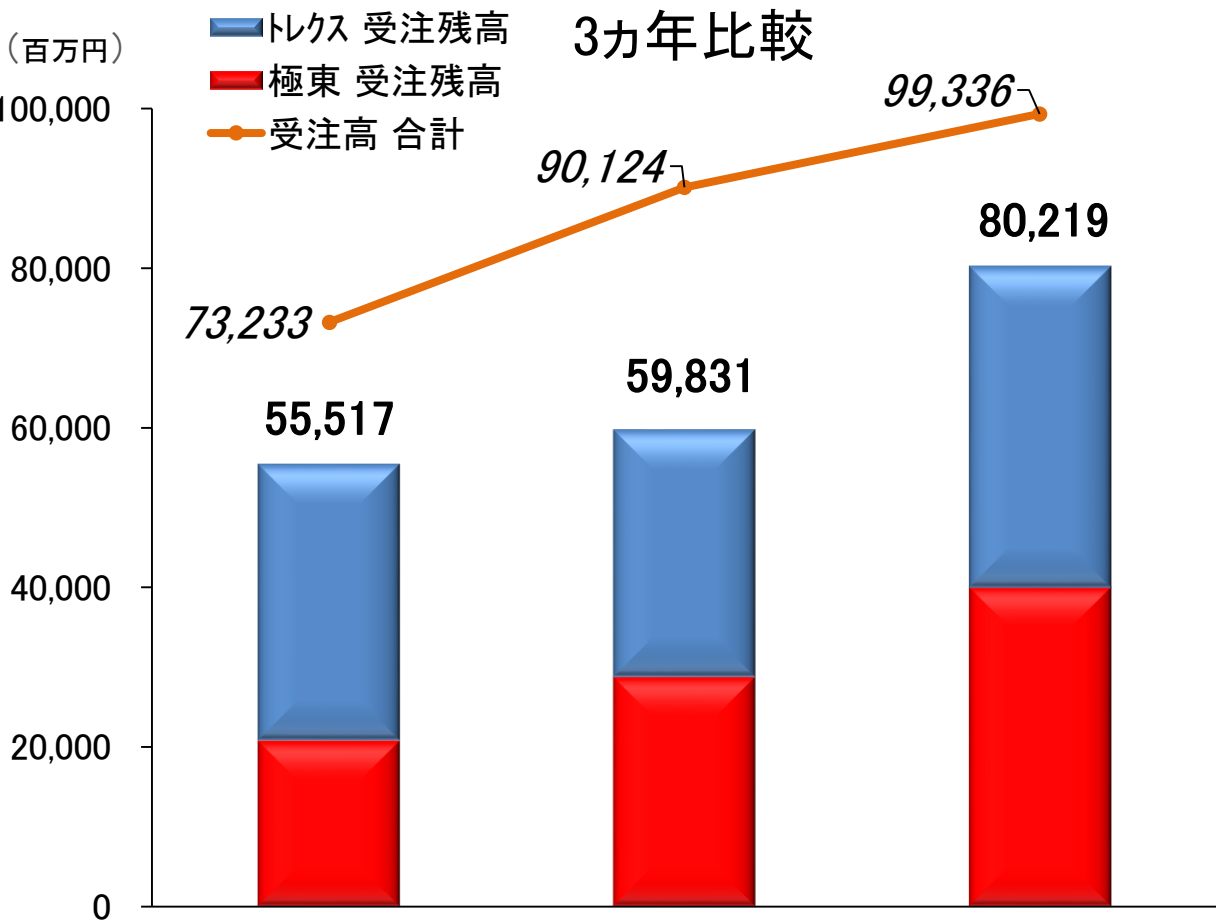
- ↑ 製品価格の改定の効果が表れる
- ↑ 海外売上の増加
- ↓ 原材料・エネルギー価格の高止まり



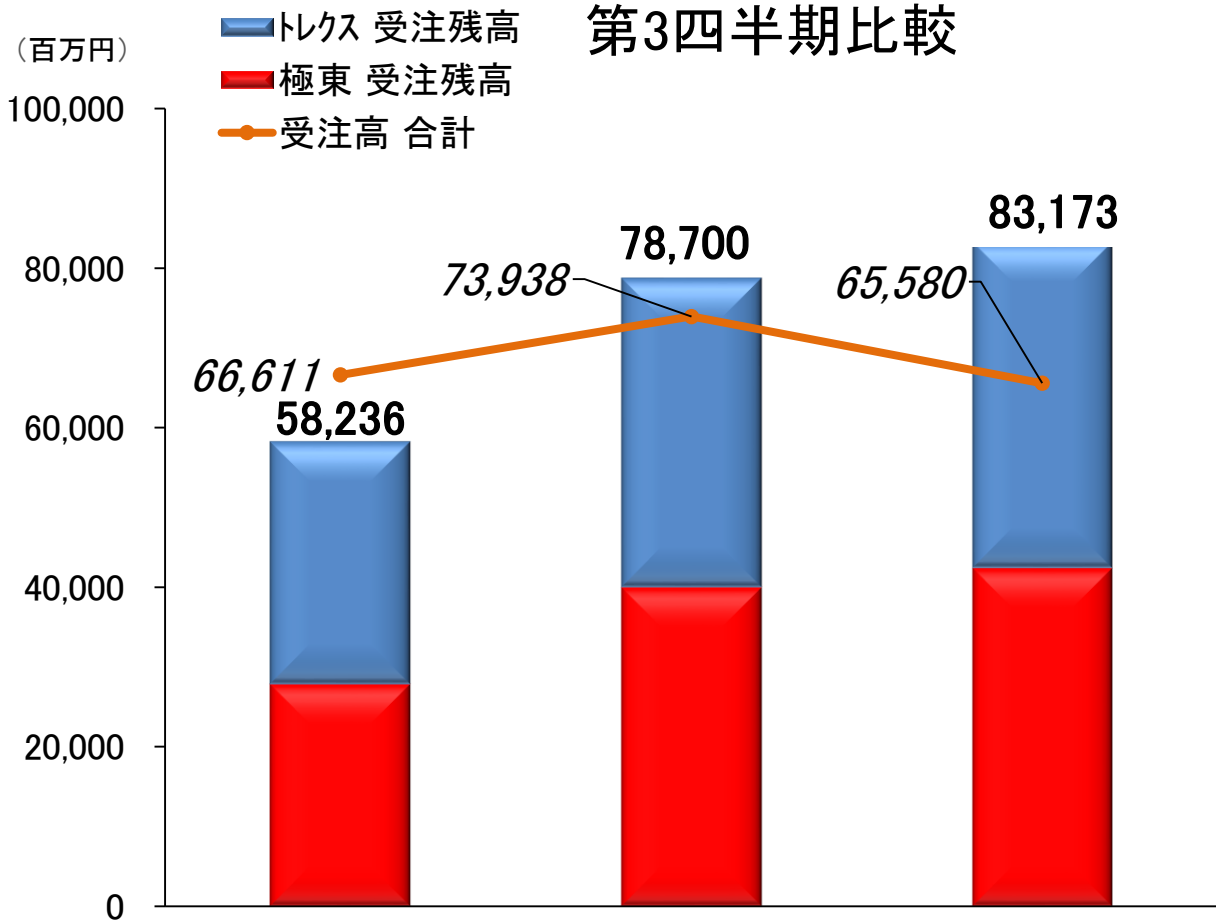
連結営業利益増減要因（特装車事業）



特装車事業 受注高と受注残高



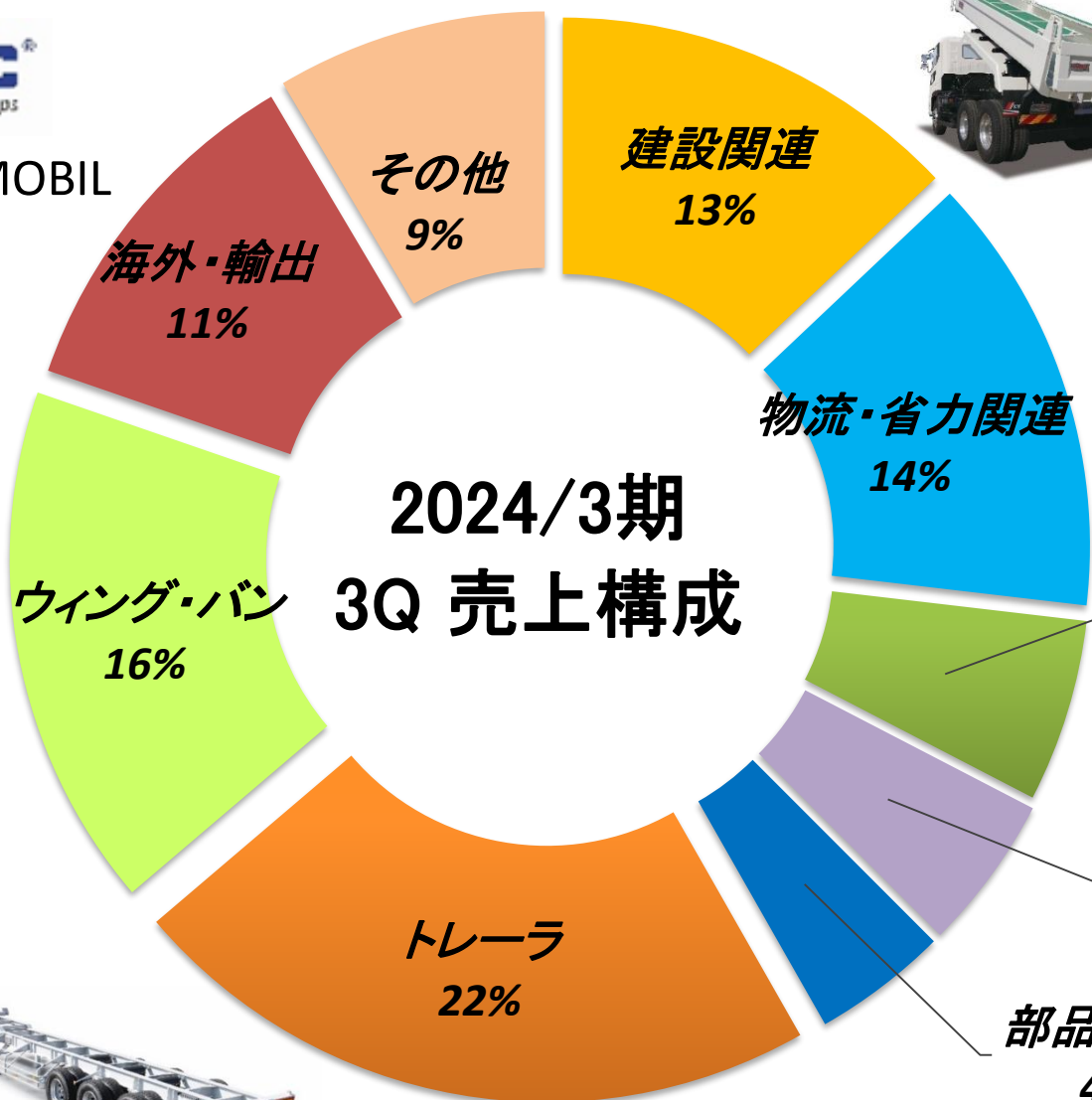
	2021/3期	2022/3期	2023/3期
極東 受注残高	20,809	28,779	39,993
トクス 受注残高	34,708	31,052	40,226
受注残高 合計	55,517	59,831	80,219
極東 受注高	44,754	49,761	47,056
トクス 受注高	28,479	40,363	52,280
受注高 合計	73,233	90,124	99,336



	2022/3期 3Q	2023/3期 3Q	2024/3期 3Q
極東 受注残高	27,915	39,987	42,380
トクス 受注残高	30,321	38,713	40,793
受注残高 合計	58,236	78,700	83,173
極東 受注高	37,635	36,017	31,855
トクス 受注高	28,976	37,921	33,725
受注高 合計	66,611	73,938	65,580

SATRAC®
Trailers & Truck Builtups

PT KYOKUTO INDOMOBIL



※連結消去前

特装車事業 製品別売上高

売上高(百万円)

0 2,000 4,000 6,000 8,000 10,000 12,000 14,000 16,000 18,000 20,000

■ 2024/3期 3Q

■ 2023/3期 3Q

建設関連

10,430

9,094



物流・省力関連

11,201

9,728



環境・福祉・作業関連
連他

4,640

3,362



トレーラ

17,728

18,312



ウイング・バン

13,304

9,942



海外・輸出

9,017

7,551

SATRAC
Trailers & Truck Solutions

PT KYOKUTO INDOMOBIL

部品・修理

3,429

3,639

シャシ・雑工事

3,942

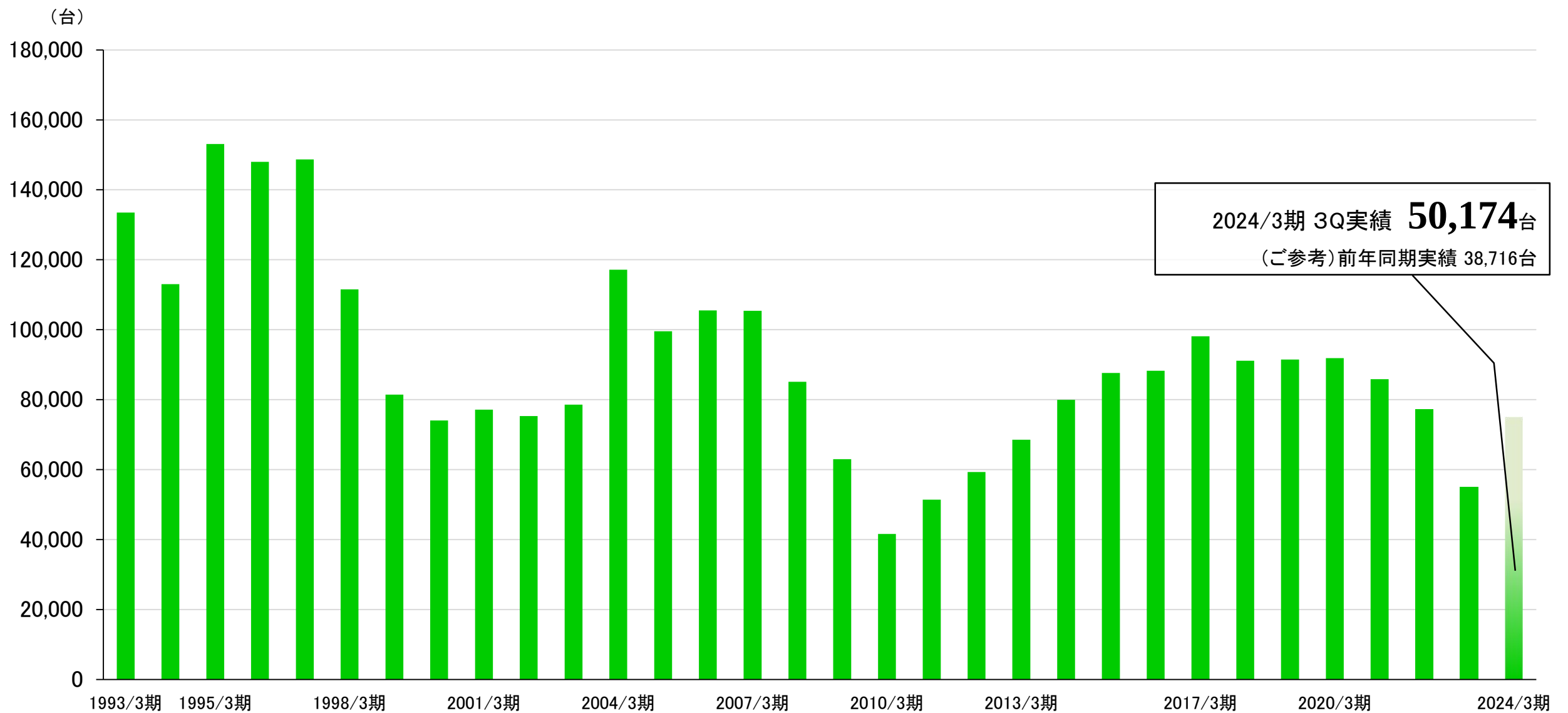
3,154

その他

6,864

6,481

国内市場 普通トラック登録台数推移



環境事業



2024/3期 3Q時点

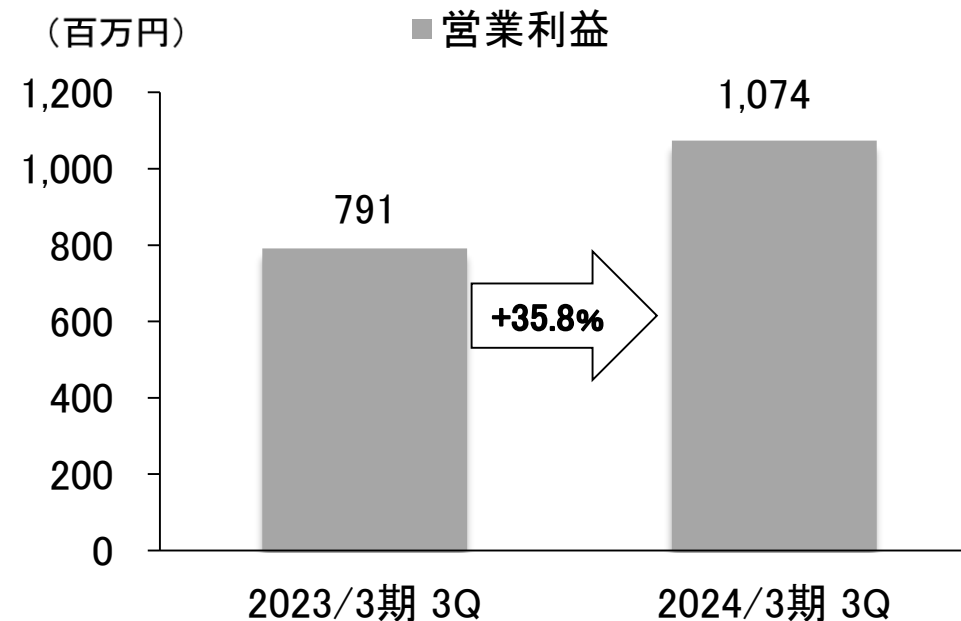
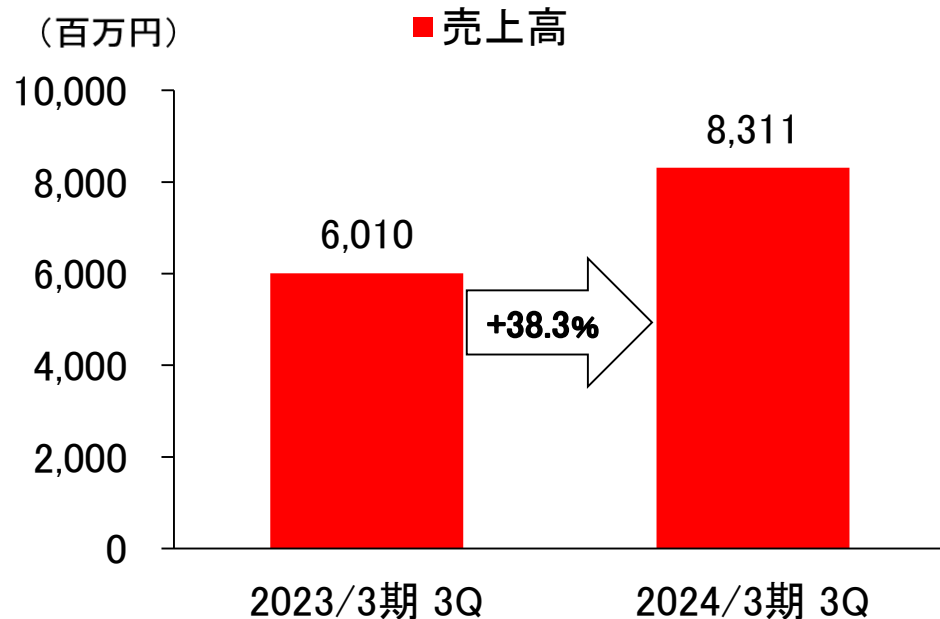
売上高 (+38.3%)

↑ プラント増加(建設工事が順調)

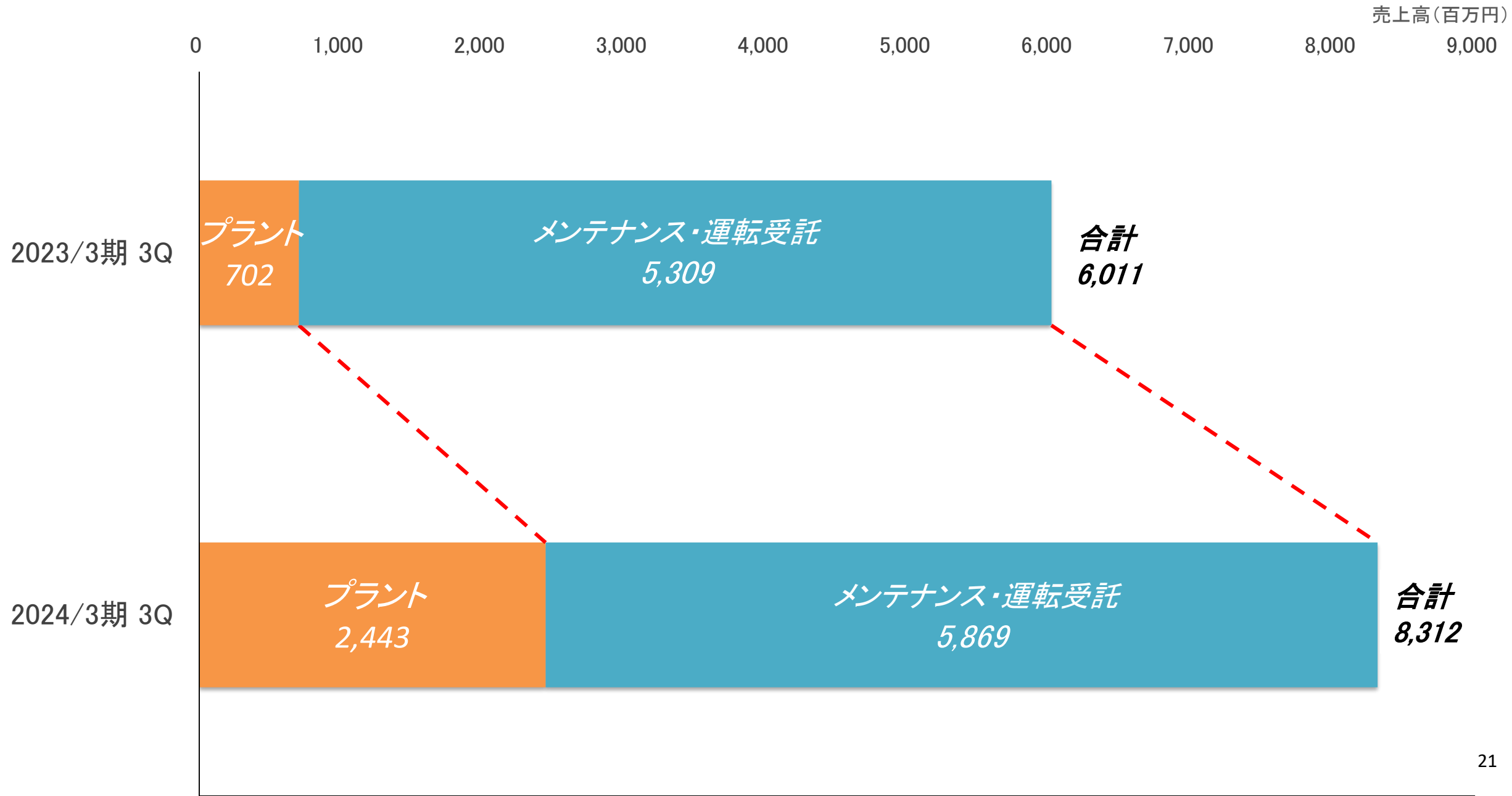
↑ メンテナンス・運転受託は引き続き堅調

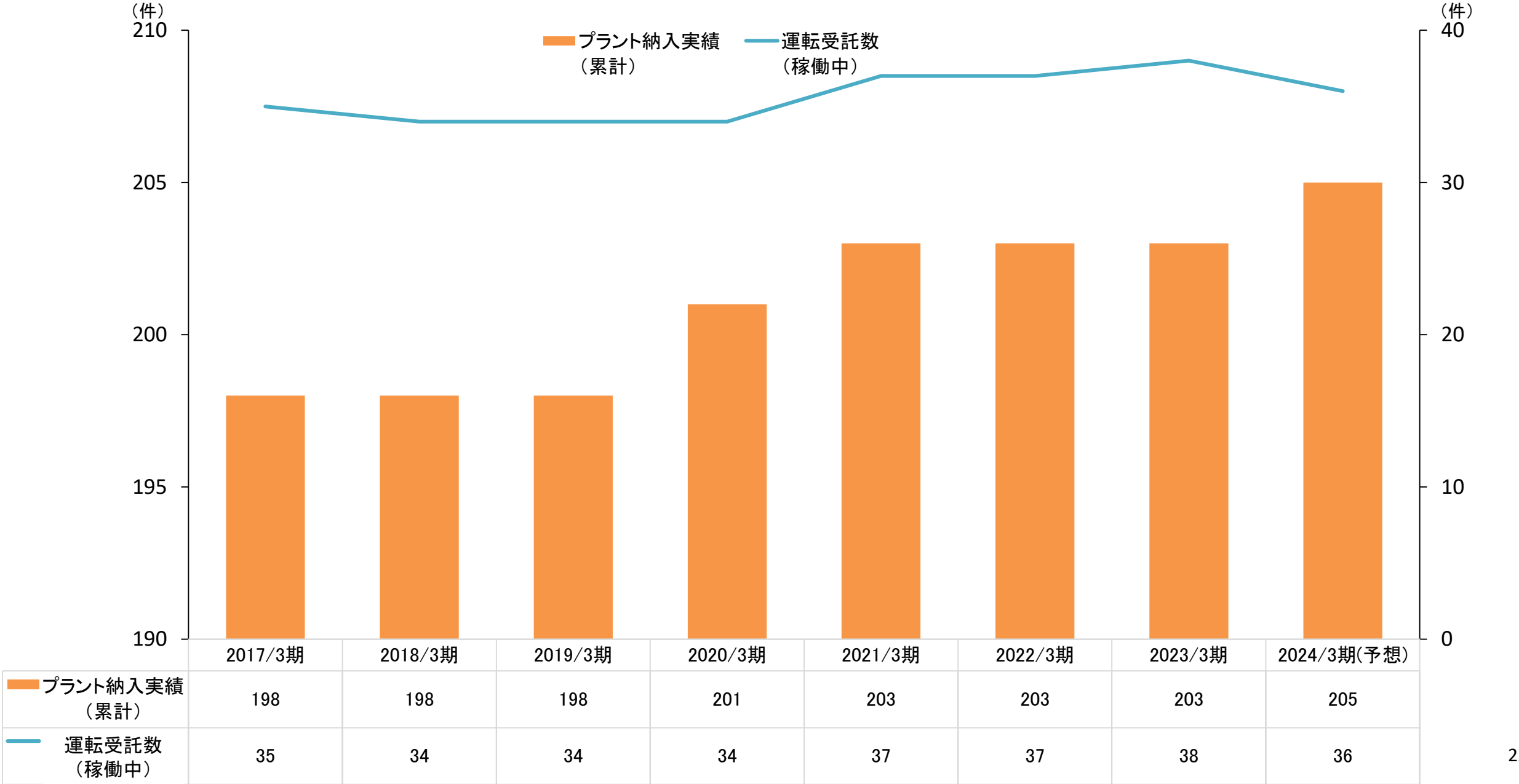
営業利益 (+35.8%)

↑ 売上増により大幅増益



環境事業 売上高比較





パーキング等事業



2024/3期 3Q時点

売上高 (+10.7%)

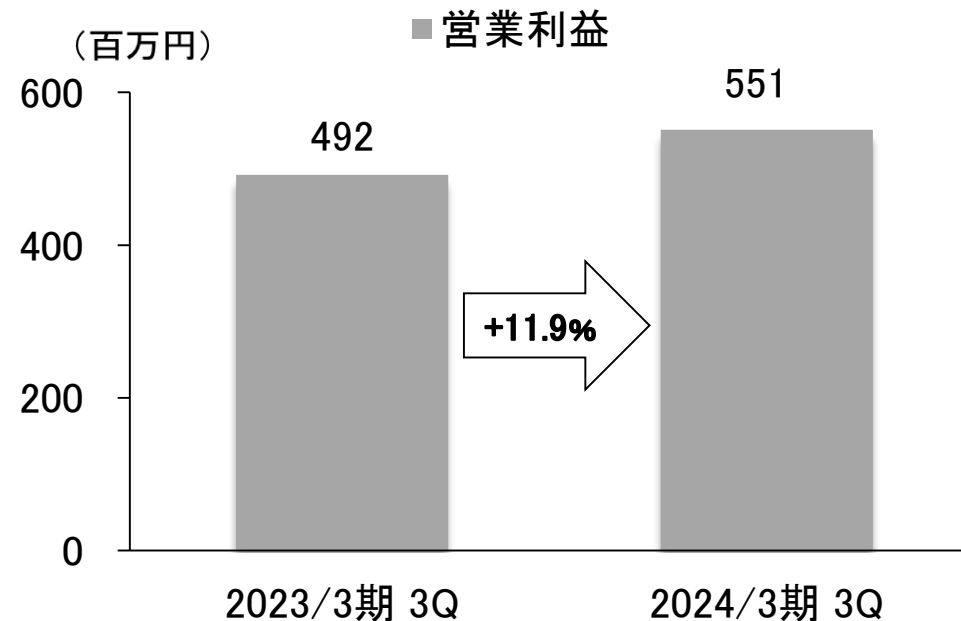
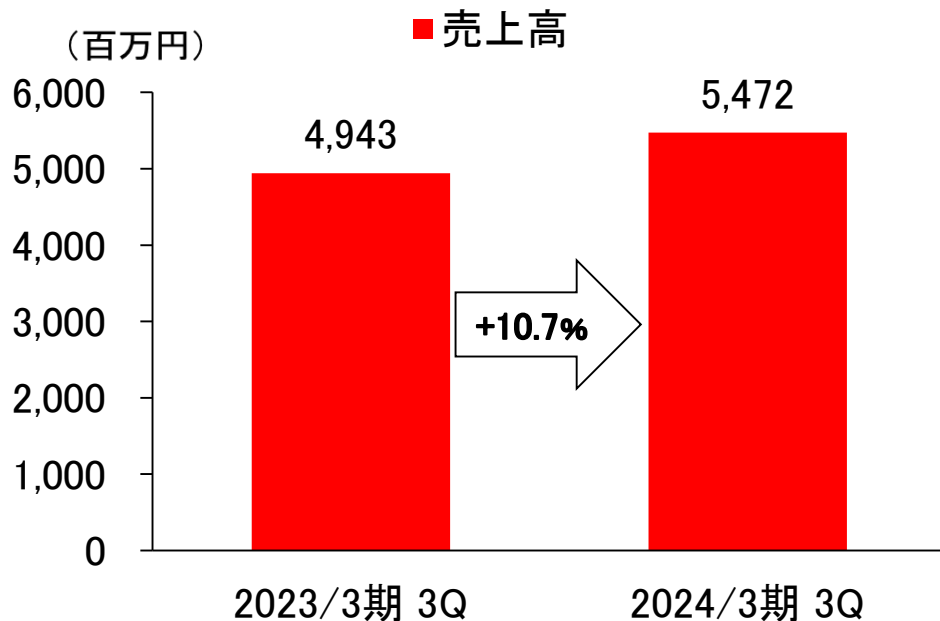
↗ 立体駐車装置は堅調

↗ コインパーキングはコロナの影響からの回復等により大幅増

営業利益 (+11.9%)

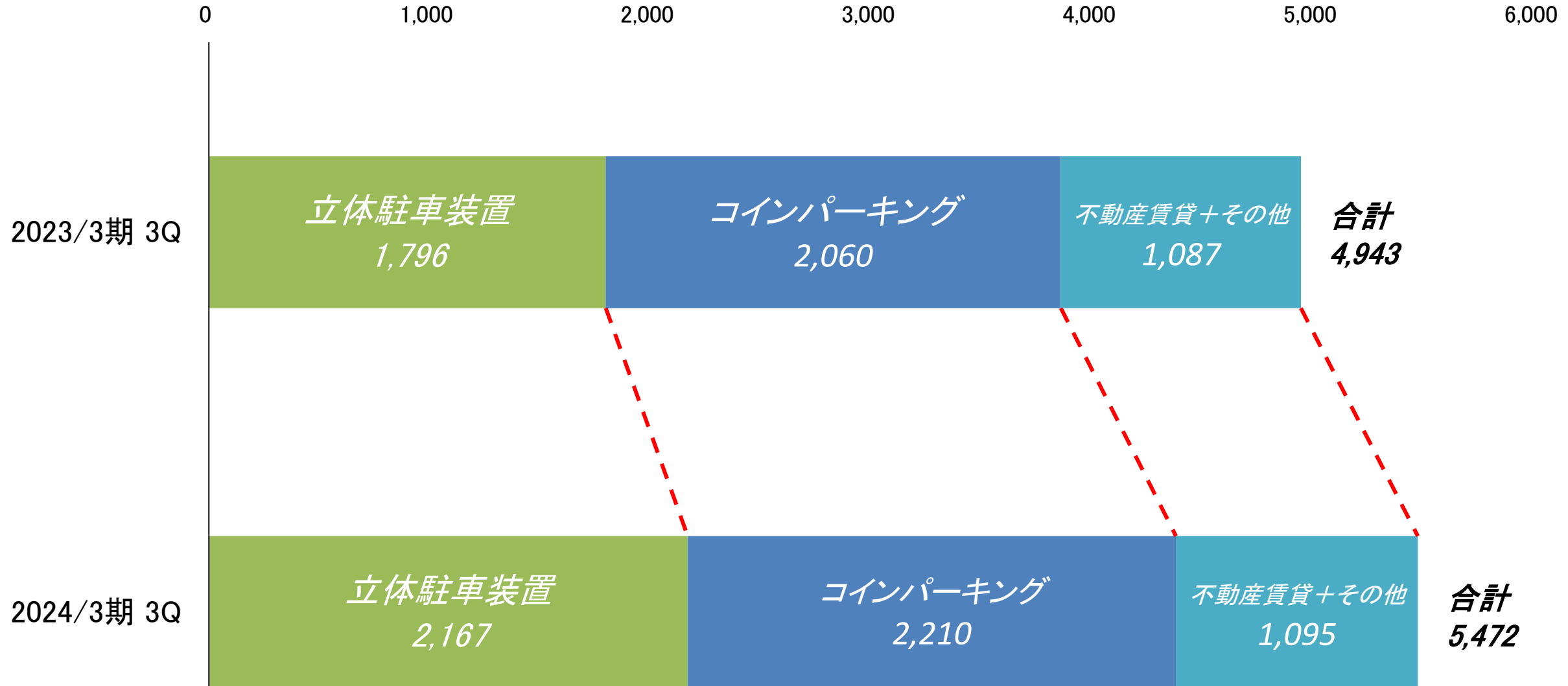
↗ 立体駐車装置はストックビジネス(リニューアル・メンテ)により大幅増

↗ コインパーキングは大幅増

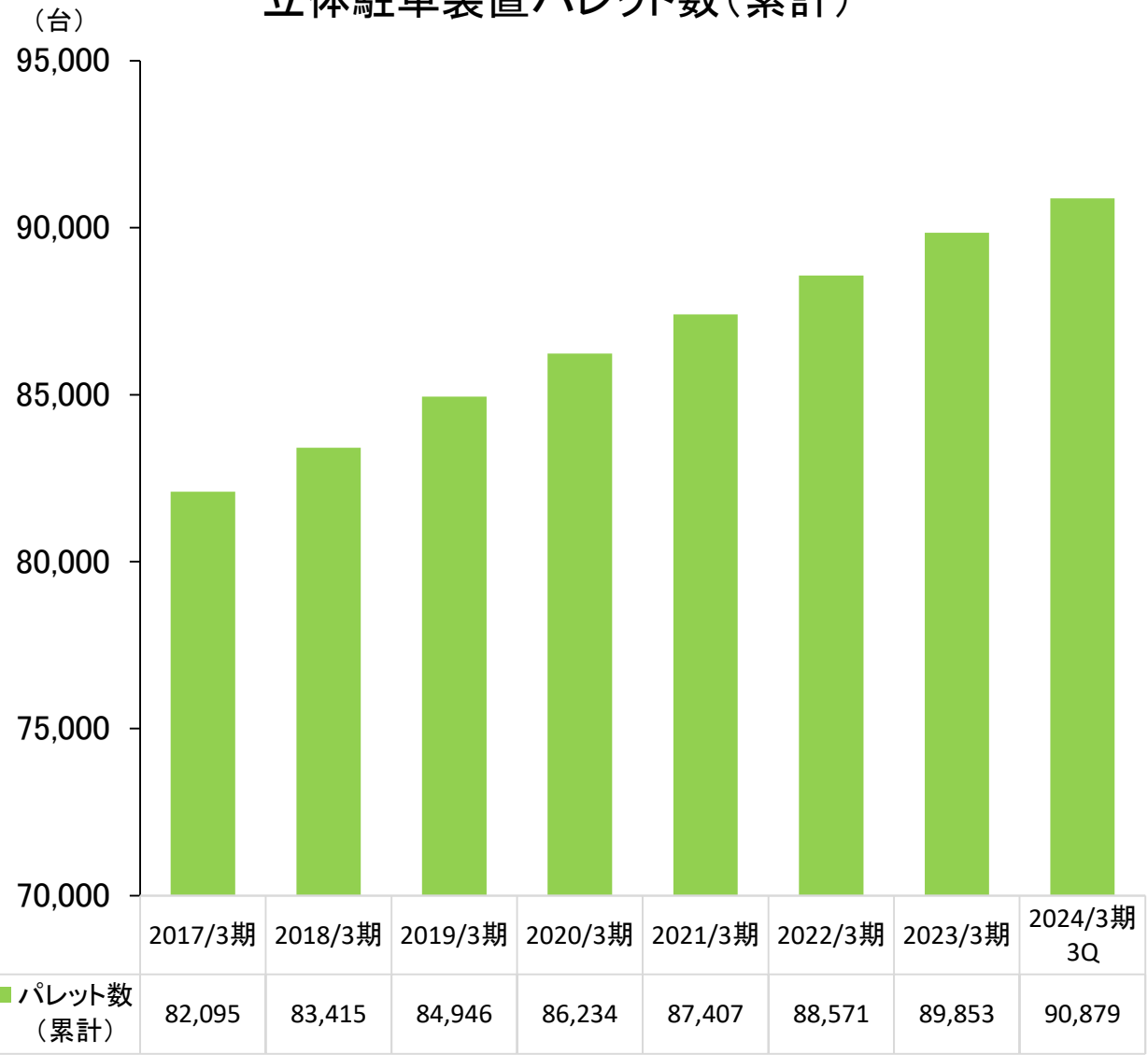


パーキング等事業 売上高比較

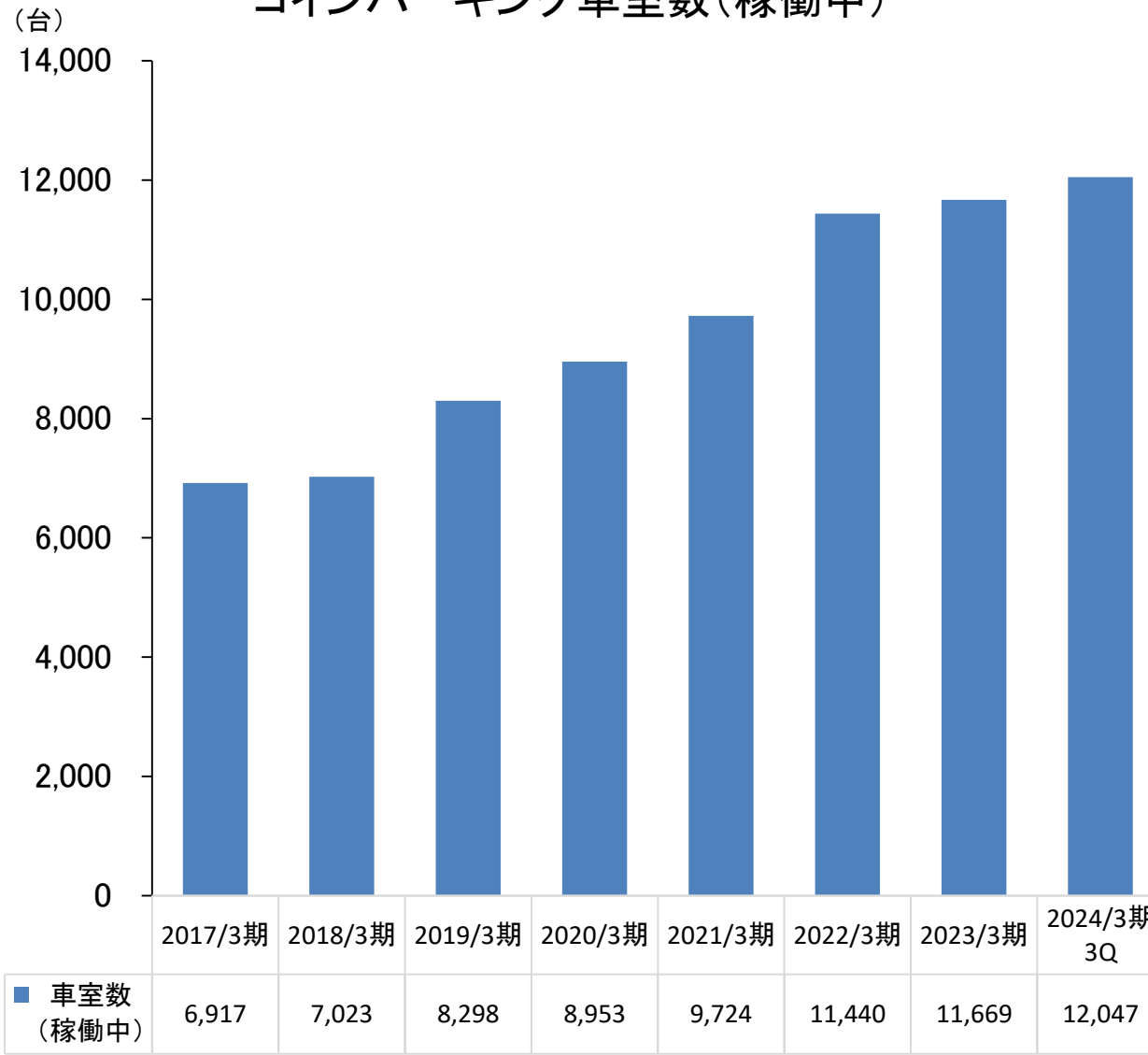
売上高(百万円)



立体駐車装置パレット数(累計)



コインパーキング車室数(稼働中)



4. 2024年3月期通期 業績予想

決算期 百万円	2023/3期	2024/3期		増減	(増減率)
		5月公表	2月公表		
				前期比	
売上高	113,089	125,000	126,500	+ 13,411	+11.9%
営業利益	991	3,200	4,400	+ 3,409	+343.8%
経常利益	1,187	3,500	4,800	+ 3,613	+304.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,580	2,200	3,000	△ 580	△16.2%

2024年3月期
連結業績予想

2023年5月公表の予想から修正

売上高 1,265億円 営業利益 44億円 経常利益 48億円
親会社株主に帰属する当期純利益 30億円

2024年3月期
配当予想

2023年5月公表の予想から修正

1株当たり配当金

中間配当 29円 期末配当 50円 (前回公表29 円から +21 円) 計 79円

2024年3月期 セグメント別予想

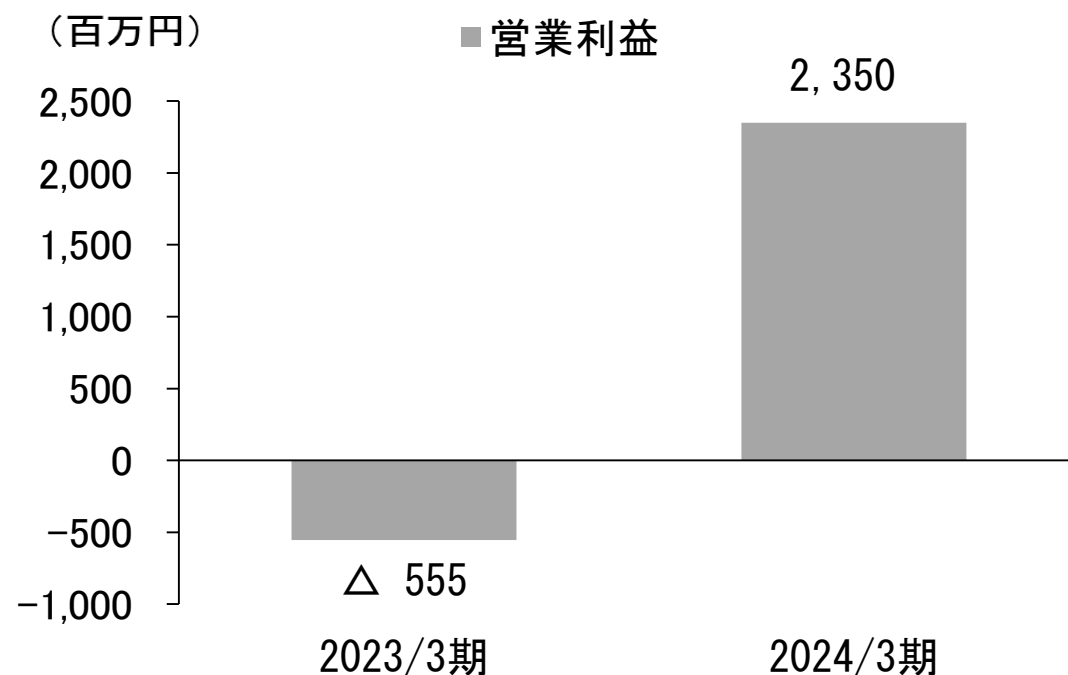
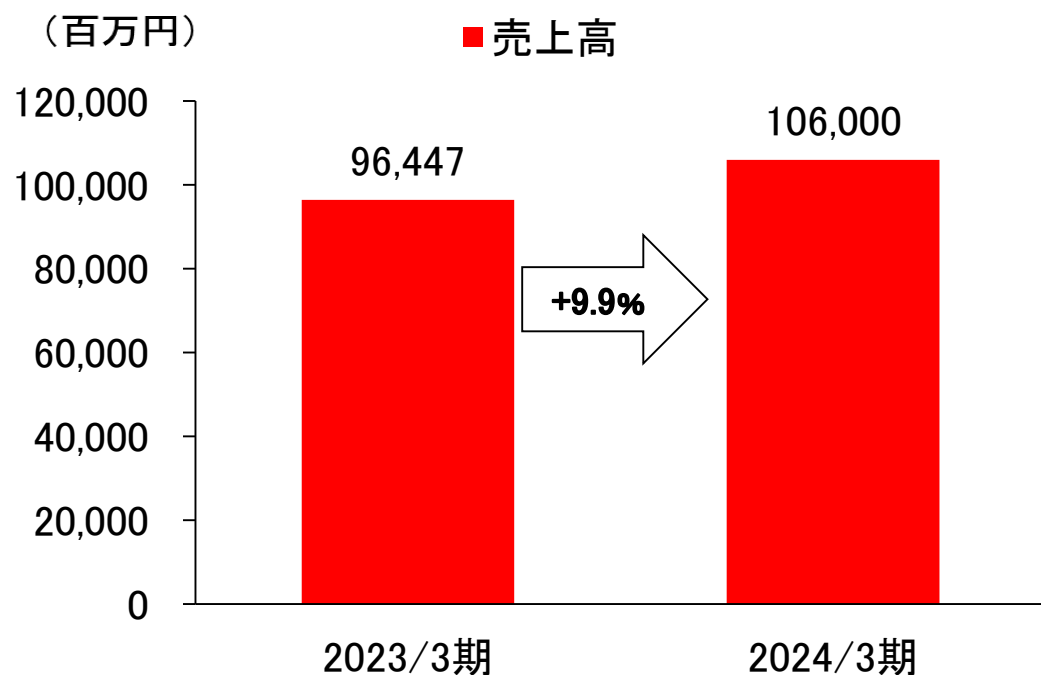


決算期 百万円		2023/3期	2024/3期		増減	(増減率)
			5月公表	2月公表	前期比	
特装車事業	売上高	96,447	105,000	106,000	+ 9,553	+9.9%
	営業利益	△ 555	1,700	2,350	+ 2,905	—
環境事業	売上高	10,327	13,500	13,500	+ 3,173	+30.7%
	営業利益	1,768	1,900	2,350	+ 582	+32.9%
パーキング等事業	売上高	6,895	7,000	7,500	+ 605	+8.8%
	営業利益	656	600	700	+ 44	+6.7%
調整額	売上高	△ 581	△ 500	△ 500	+ 81	—
	営業利益	△ 877	△ 1,000	△ 1,000	△ 123	—

特装車事業 通期業績予想

特装車事業

- 国内需要は底堅く、受注は引き続き好調に推移
- 原材料及びエネルギー価格が高止まり
- 国内トラックシャシの供給の本格的な回復には、もう少し時間を要す見込み
- 製品価格の改定を継続的に進めた結果、損益面に効果



特装車事業 価格改定の取り組み

諸物価高騰に対応するため、
タイムリーな価格改定により収益性向上を図る



2022年4月	➤ 全製品（ダンプ、テールゲートリフタ、タンクローリ、ごみ収集車など）	約5～15%アップ
2022年5月	➤ 補修用部品	約14%アップ
2023年4月	➤ テールゲートリフタ	約 5%アップ
	➤ ごみ収集車	約 7%アップ
	➤ 1台積車輛運搬車	約 8%アップ
	➤ コンクリートポンプ車	約 2～10%アップ



2023年2月	➤ 全製品（トレーラ、ウイングボデー、バンボデーなど）	約10～20%アップ
2023年4月	➤ 補修用部品	約15～20%アップ
2024年1月	➤ 全製品（トレーラ、ウイングボデー、バンボデーなど）	約10～18%アップ
2024年4月	➤ 補修用部品	約10～18%アップ

特装車事業 国内トラックシャシの供給状況

半導体不足等による搬入遅延は概ね解消、2023年度下期から回復へ

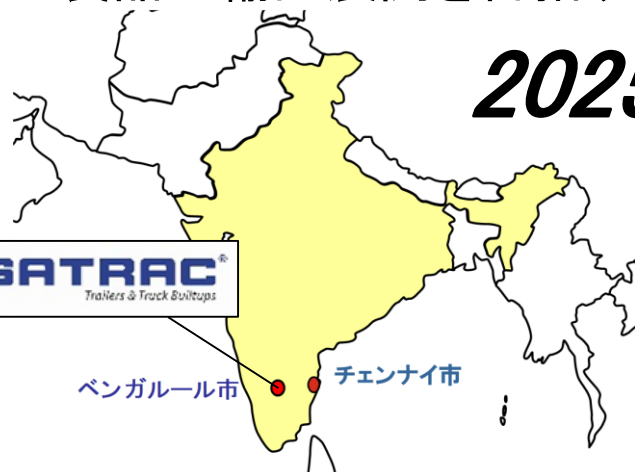
インドSATRAC 社の新工場建設

生産能力の強化による受注の取り込みと販路拡大によるシェアアップ及び将来的な製品の輸出展開を目指すべく、チェンナイ市近郊への**新工場建設を計画**



2025 年度 竣工・生産開始

設備投資額 : 約 19億円
敷地面積 : 約 5.8万 m^2 (予定)



オーストラリア販売代理店の株式90%を取得(M&A)



Kyokuto Australia Pty Ltd
旧社名 Import Machinery and Equipment Pty Ltd.

クイーンズランド州
ブリスベン

豪州及びオセアニア圏へ**初**進出

- ①ミキサートラックを中心に取扱製品の拡充とさらなる拡販を図る
- ②日本国内から豪州向けに輸出している中小型リヤダンプトラック等の部品供給拠点としても事業を展開

将来の利益創出に向けた積極投資

特装車のサービス体制強化(M&A)

エフ・イ・オートは、九州地域の指定サービス工場の九州特殊モータース(本社:福岡県)の全株式を取得し、**グループ化**

【目的】

- 販売促進・シェア向上
- サービス力強化



福岡工場 新事務所、工場増設

BCP対策として、事務所建替え

工場棟を増設し、リヤダンプトラック生産力を **1.3** 倍に強化



日本トレクス 本社新工場を建設

主力製品であるトレーラ生産の新工場を本社内に建設中

投資額 約**40** 億円、完成は**2024年5月**を予定

【効果】

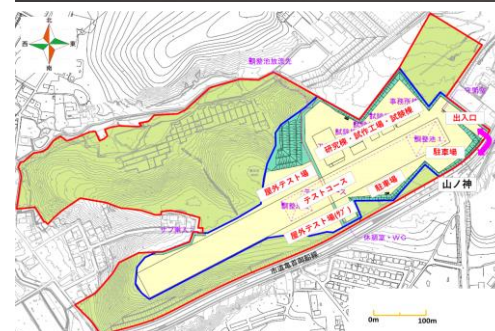
- 生産能力 **1.4** 倍に向上
- 環境に配慮した工場
揮発性有機化合物を年間 約6.3t低減
CO₂ 排出量を年間 約3.2t削減



研究開発体制の強化

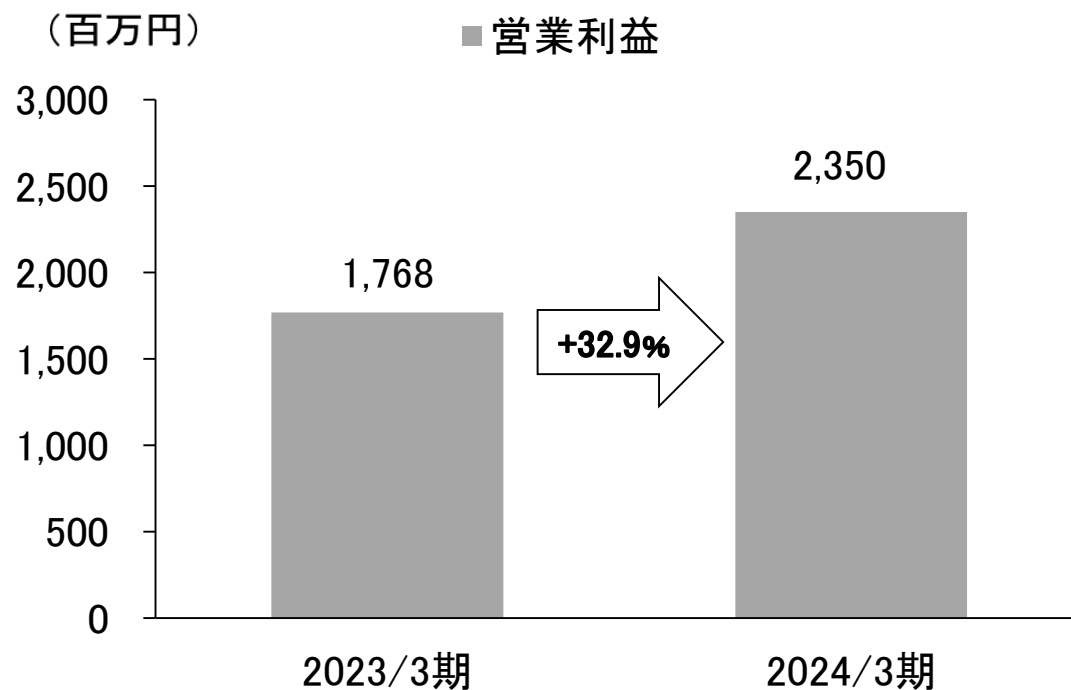
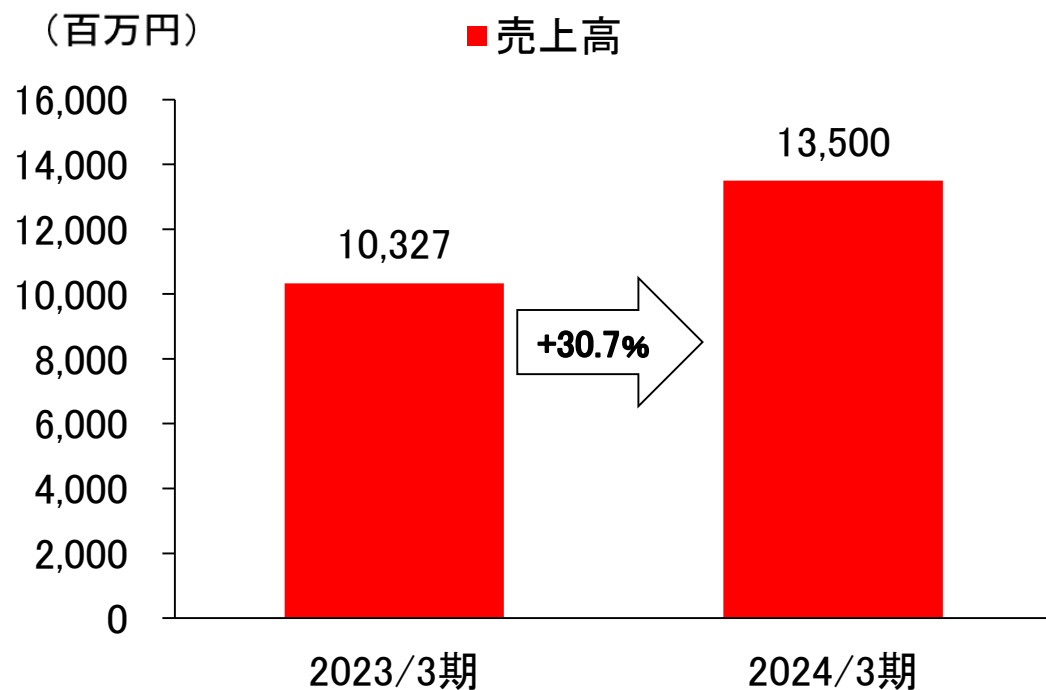
当社グループ研究開発拠点(テクニカルセンター)の建設計画を推進

2026年度完成予定



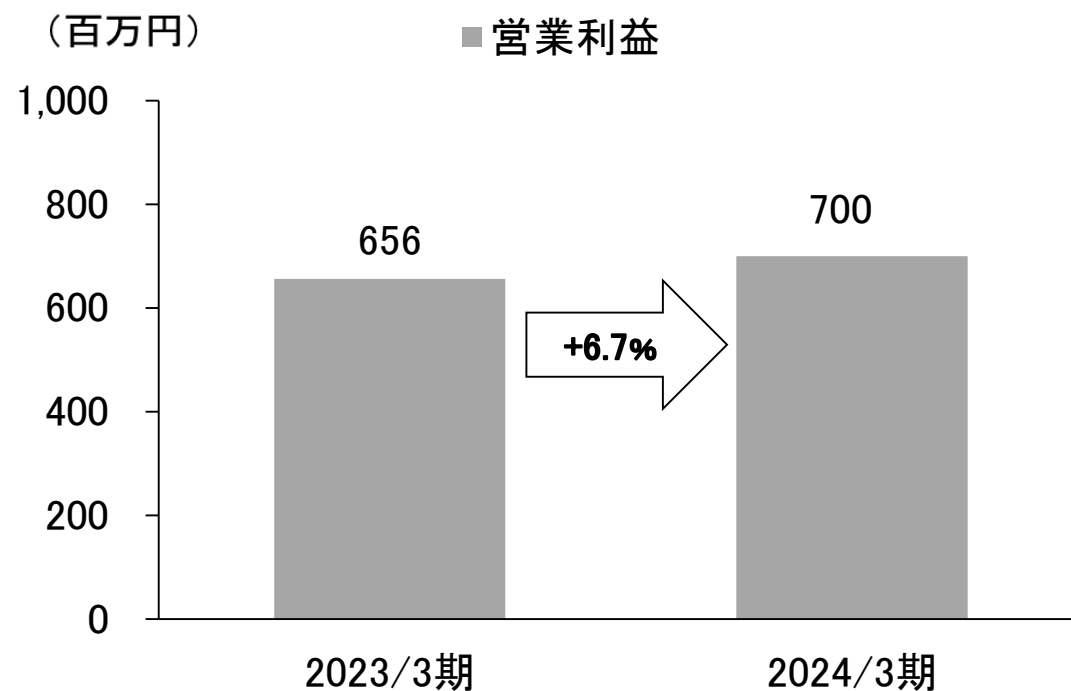
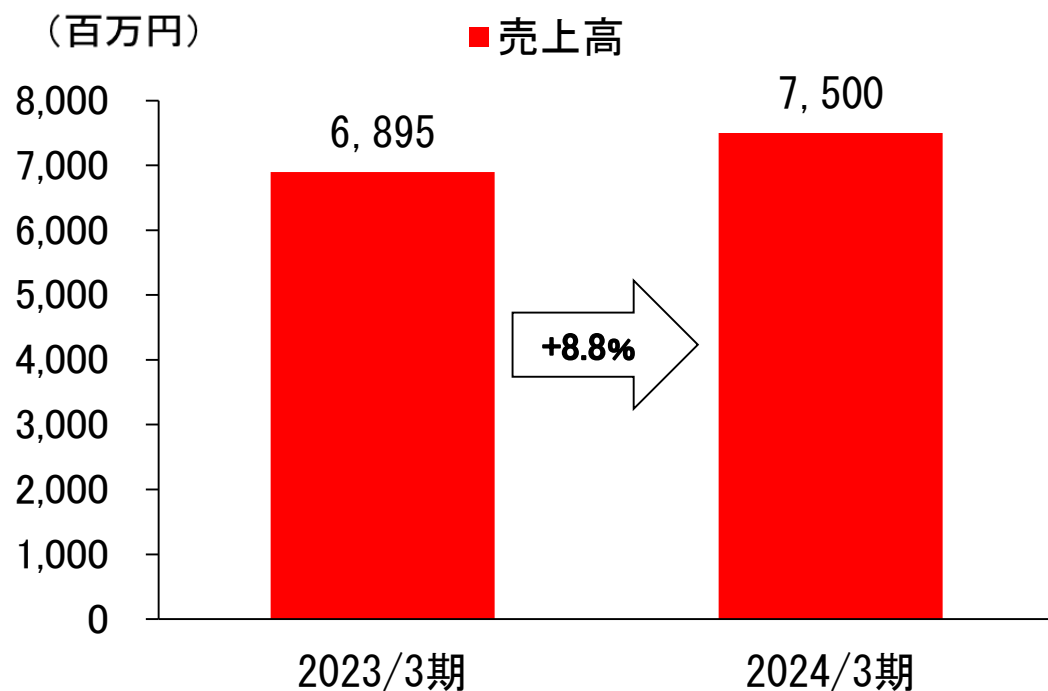
環境事業

- 今期中に新規プラントが 2 物件竣工し、売上高は大幅に増加
- 運転受託及びメンテナンスのストックビジネスは堅調
- 大型案件受注(中防不燃・粗大ごみ処理施設整備工事) 工期 52ヵ月 受注額 41,130百万円
工事進行中:上記含め8件(北海道3件、東京、埼玉、長野、兵庫、鹿児島)



パーキング等事業

- 立体駐車装置：リニューアル・メンテナンス等のストックビジネス強化
- コインパーキング：事業地・車室数増加と料金見直し→増収増益

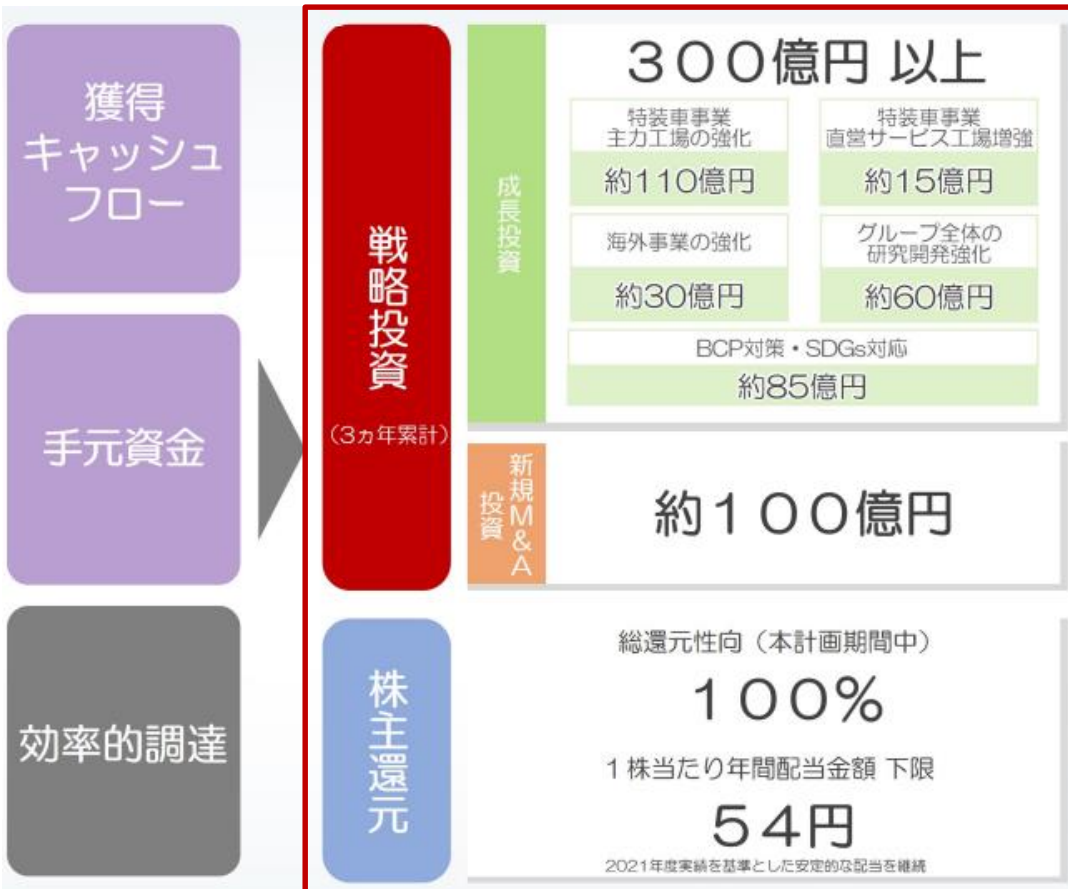


◆ 幅広いステークホルダーからの評価と企業価値向上を意識し、

キャッシュ・アロケーションの適切な配分を推進

中期経営計画 2022-24 ～Creating The Future As One～

業績等の目標・方針(財務方針)



進捗状況

成長投資

- 2023年3月期 設備投資実績 118億円
 - ・福岡工場 新事務所・工場増設(9月完成)
 - ・主力製品であるトレーラの新工場(建設中)
 - ・インド SATRAC社の新工場(準備中)
 - ・グループ研究開発拠点(テクニカルセンター)を計画中



新規M&A投資

- 九州特殊モータースの全株式を取得
- Kyokuto Australia Pty Ltd としてスタート

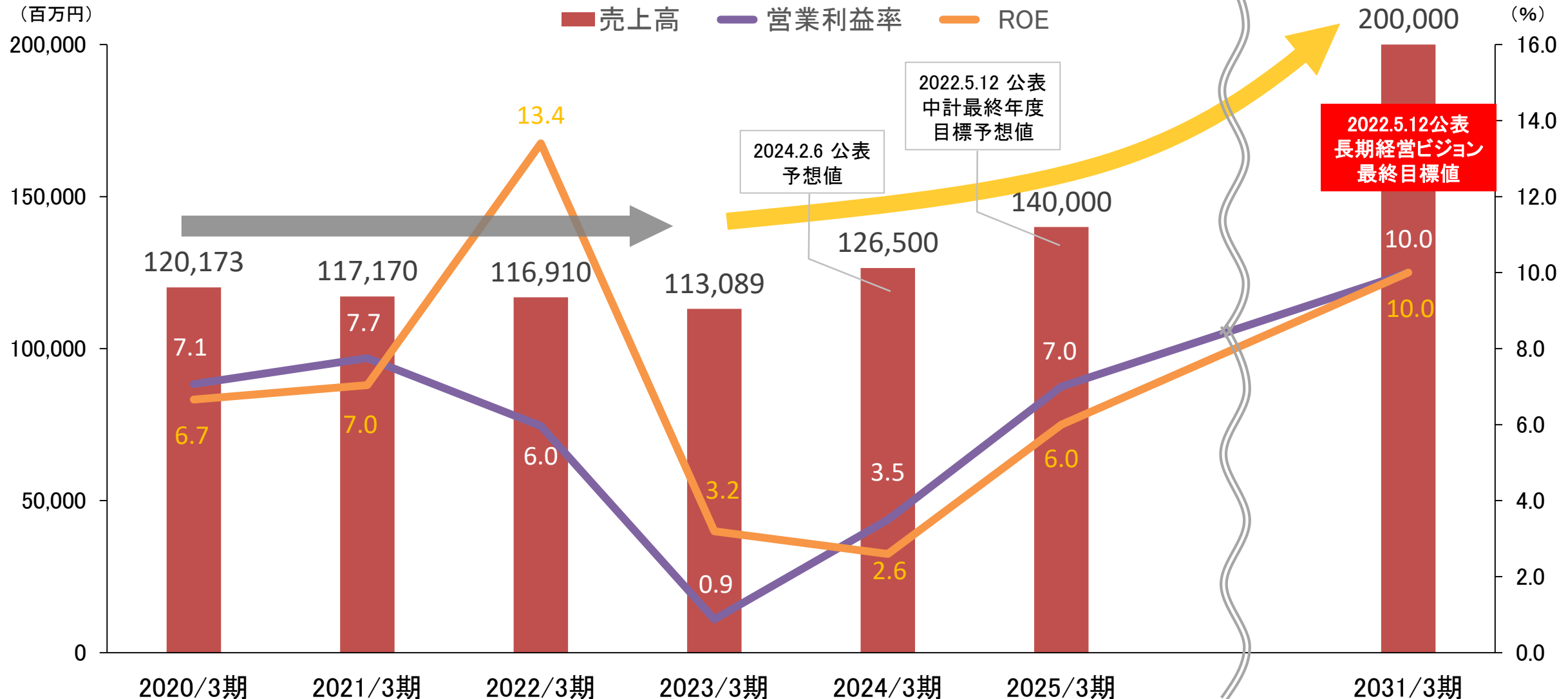


株主還元

- 今期は前期比 4円増の58円を予定
- 配当性向 100%(総還元性向 100%目標)

収益性の強化（長期経営ビジョン）

売上高・営業利益率・ROE目標



前中計

Creating The Future As One

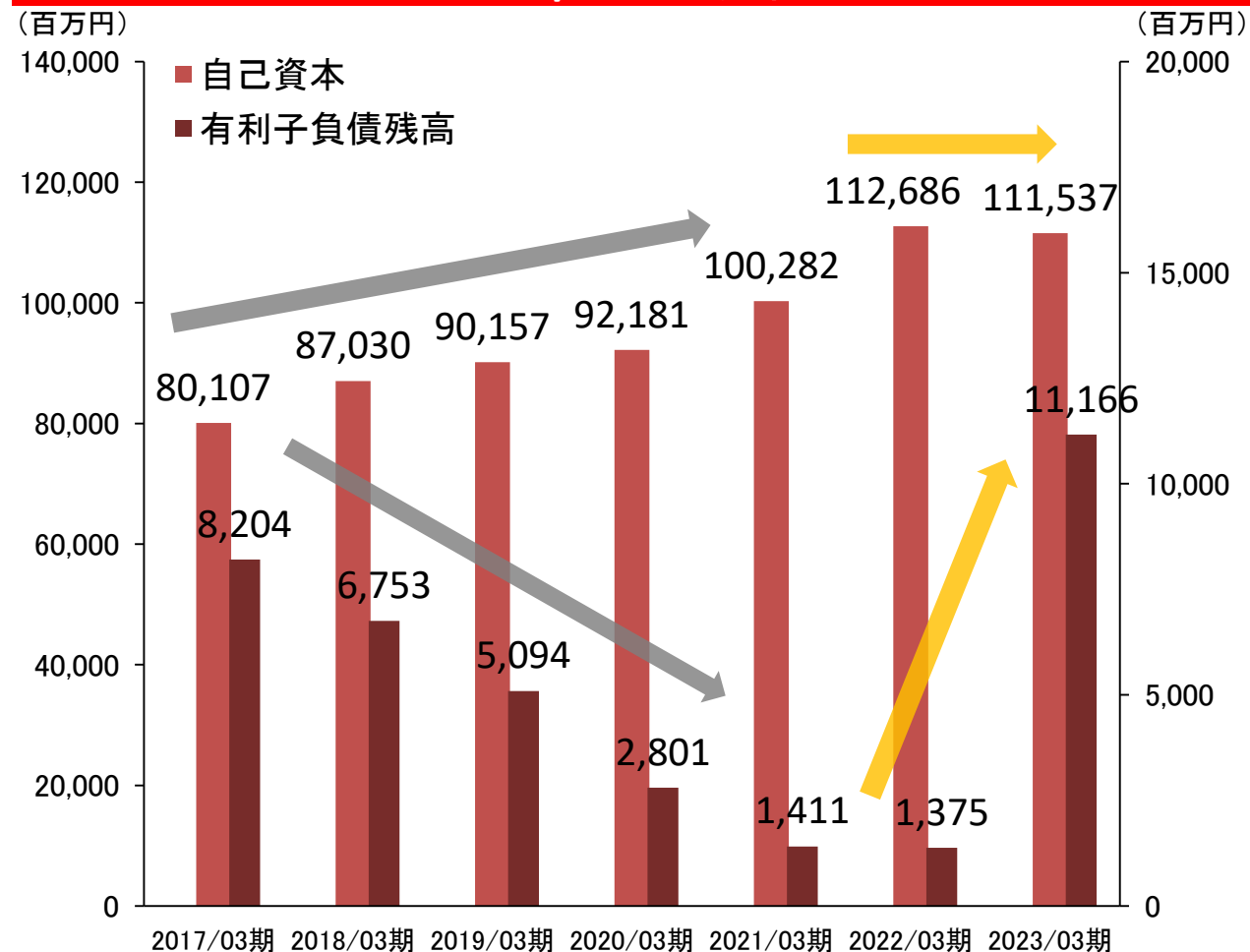
Kyokuto Kaihatsu 2030

資本コスト等の算定とバランスシート改善

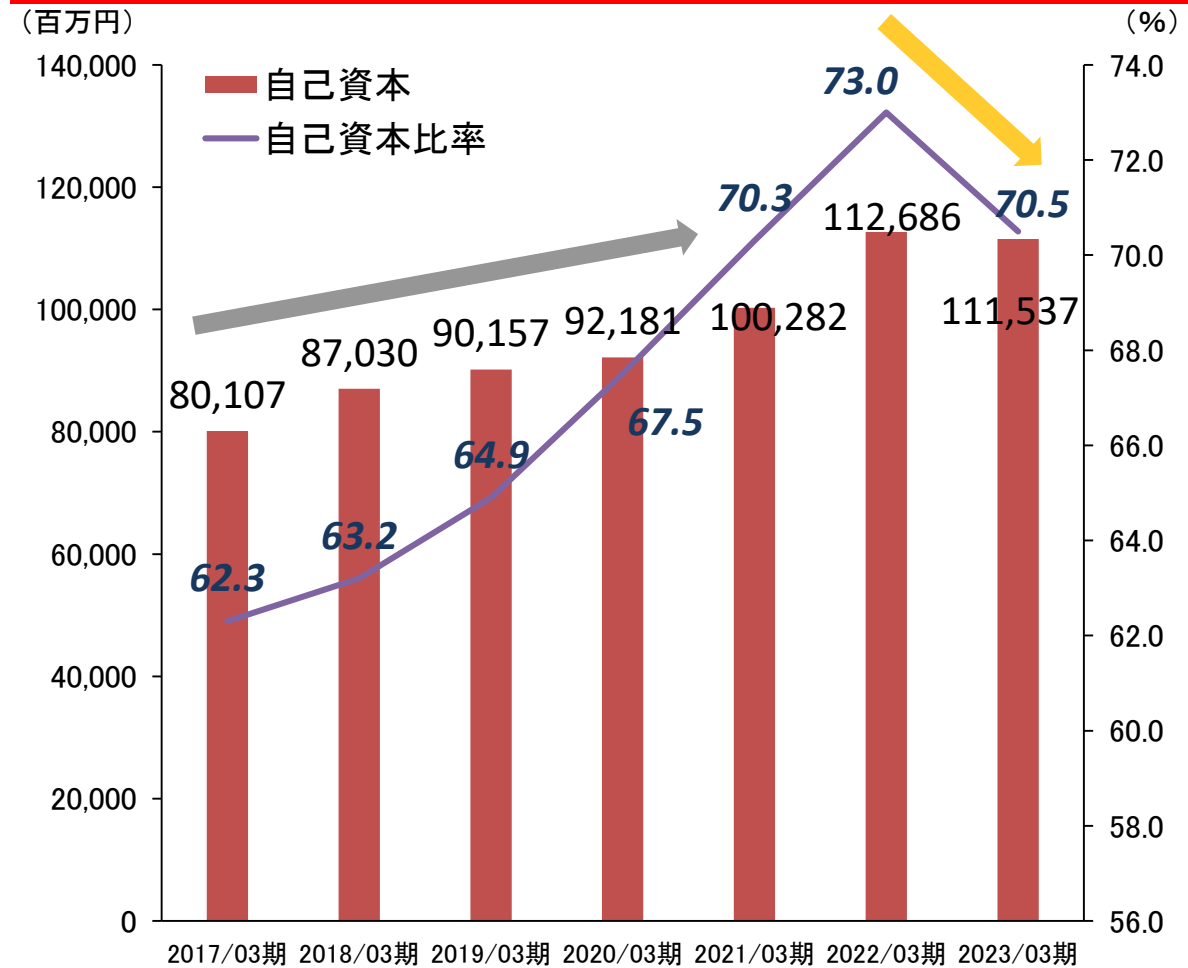


- ◆ 2023/3月末 資本コスト 約7%、WACC 約6% と認識 → 直近では諸施策の効果でそれぞれ1ポイント程度低減していると推定
- ◆ 有利子負債の活用等により、資本効率を向上、資本コストとWACCの更なる低減を進める
 - 2023/3月期末の自己資本比率は70.5%(2022/3期末 73.0%)に低下

自己資本/有利子負債残高



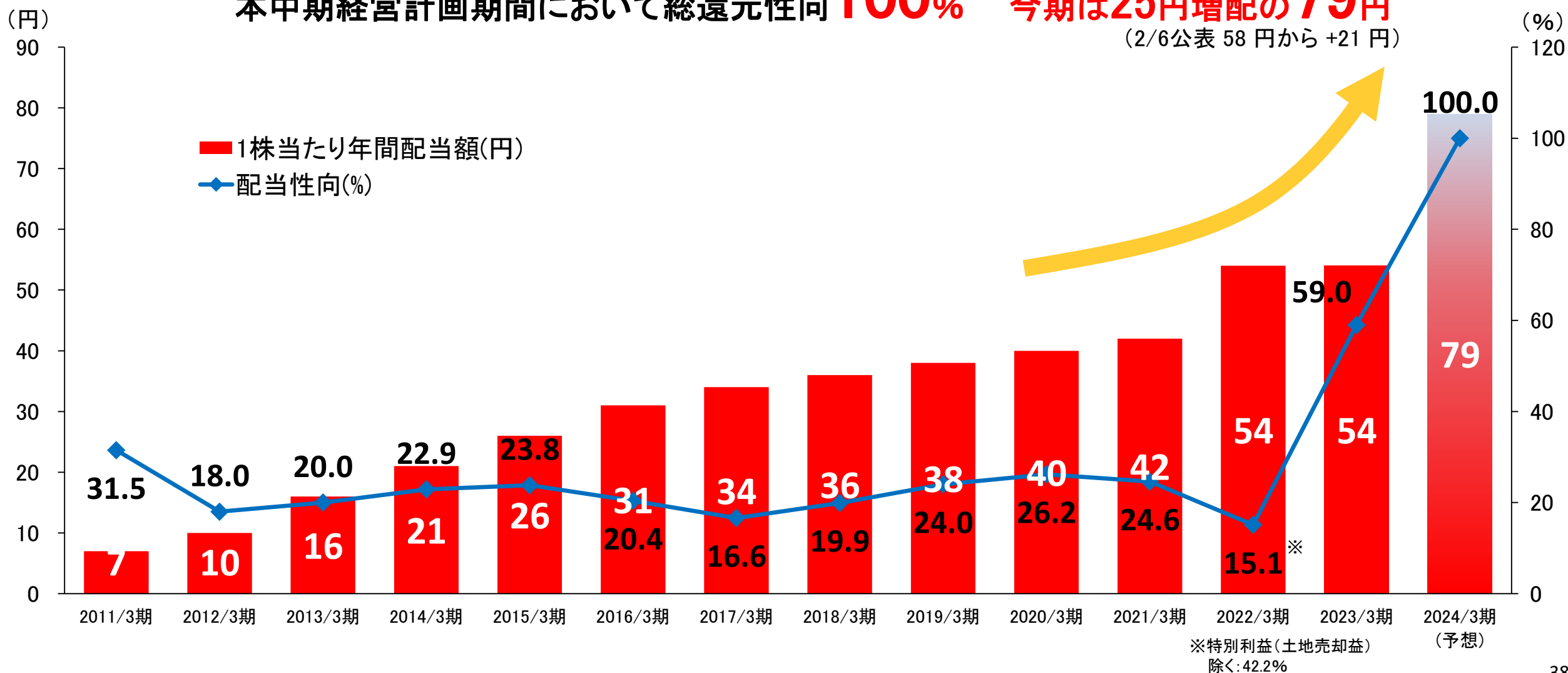
自己資本/自己資本比率



株主還元の強化（1）

株主還元の方針：年間配当額 1株当たり下限54円 +機動的な自己株式取得の実施

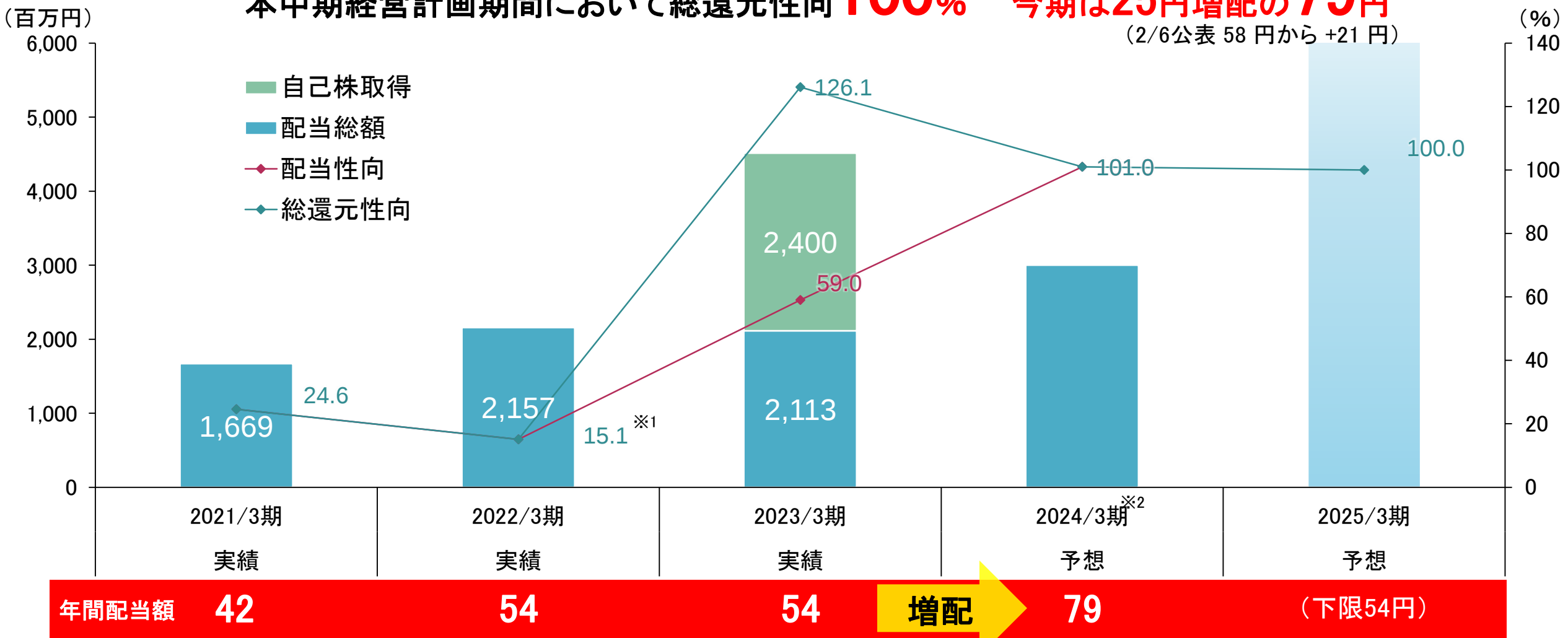
本中期経営計画期間において総還元性向 **100%** 今期は**25円増配の79円**
(2/6公表 58円から +21円)



株主還元の強化（2） 自己株式の取得を含む

株主還元の方針：年間配当額 1株当たり下限54円 +機動的な自己株式取得の実施

本中期経営計画期間において総還元性向 **100%** 今期は**25円増配の79円**
(2/6公表 58円から +21円)



※1 特別利益(土地売却益)
除く: 42.2%

※2 2024/3期は株主配当で100%を達成する見込み
自己株式取得は状況を見て判断

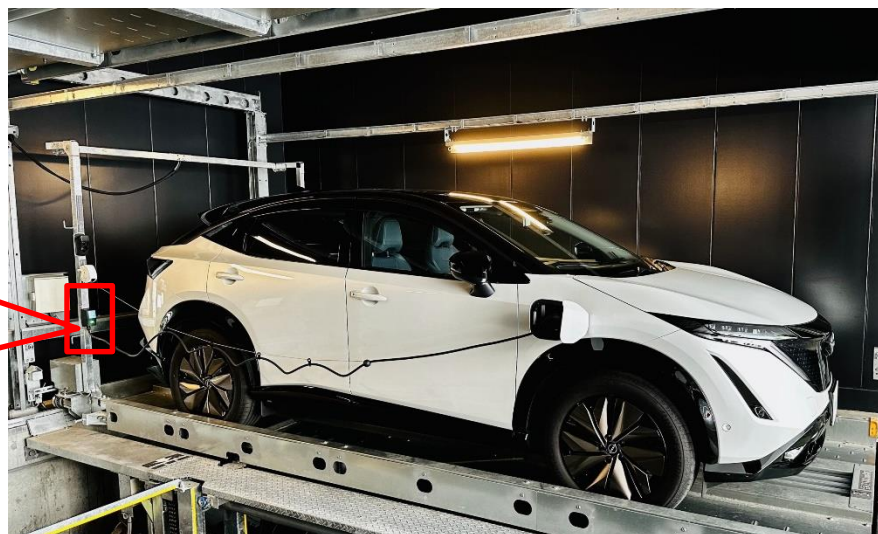
5. TOPICS

グループ会社の極東開発パーキング(株)は、立体駐車装置・コインパーキング向けのEV用新サービス「Charge-mo（チャージモ）」を2023年10月からスタートしました。

EV用充電設備の「設置」「Webアプリ提供」「メンテナンス・サポート」をワンストップで提供する、立体駐車装置ではメーカーとして業界初(※同社調べ)となるサービスです。

【特長】

- 専用のCharge-mo Webアプリで簡単に充電
- EV用充電設備の導入からアフターサポートまでフルパッケージのご提案
- マンションなどの集合住宅やコインパーキングでも設置可能



機械式立体駐車装置へのEV用充電設備装着イメージ



Charge-mo
Web アプリ画面イメージ

昨年 2月まで約 66年間の長きに亘り、地域の皆様に支えられながら社業を発展させてまいりました当社にとって最も縁の深い地であることから、西宮市における芸術文化やスポーツの振興の一助とさせていただく目的で、企業版ふるさと納税制度を通じて関連事業に対し寄附を行いました。

【実施した企業版ふるさと納税の対象プロジェクト・事業詳細】

（１）対象プロジェクト

西宮 こどもの「ゆめ」育みプロジェクト

※地方創生に向けた「西宮版総合戦略」の基本目標の内、
「芸術文化・スポーツに触れる機会の促進」及び
「結婚・出産・子育て・子供の育ちへの支援」に係るプロジェクト

（２）対象事業

- ①アスリート先生派遣事業
- ②市制施行100周年記念プレイベント



目録贈呈の様子（2023年12月1日：西宮市役所）
（写真右）西宮市長 石井 登志郎氏
（写真左）当社 取締役社長 布原 達也

TOPICS③ 新「eパッカー®」市販車第1号を納車

電動式ごみ収集車 新「eパッカー」を開発し、三菱ふそうトラック・バス株式会社の電気小型トラック「eCanter」の新型モデルに架装した市販車国内第1号車を納車いたしました。

今回開発した新型車は、当社が今まで培ってきた電動技術とノウハウを生かした走行・作業共にフル電動のごみ収集車で、排気ガスとCO2の排出がありません。



新「eパッカー」の特長

- ・ 排気ガス・CO2を排出しないクリーンな作業の実現
- ・ 低騒音
- ・ エンジン車と変わらない仕様と作業性

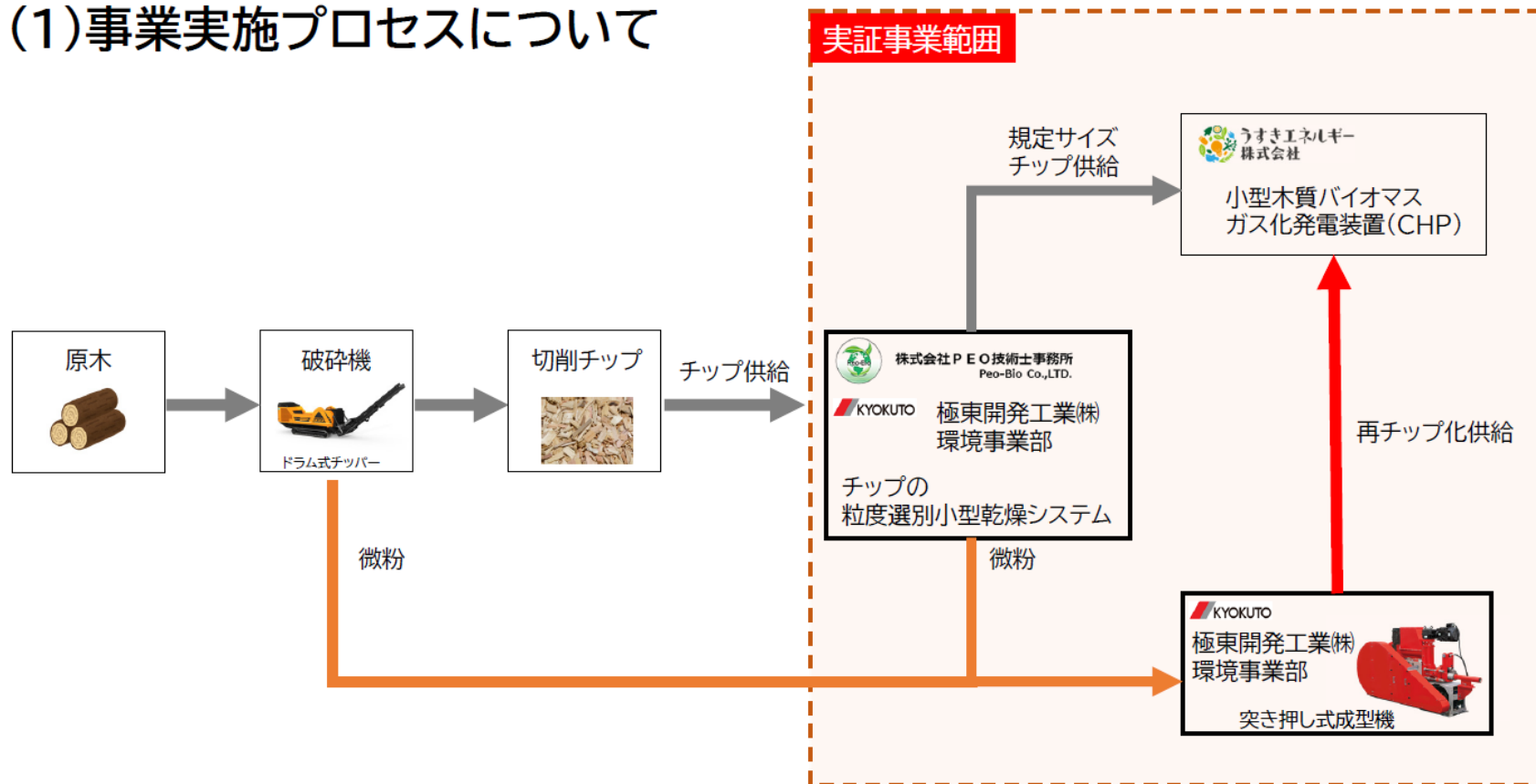


BEVシャシ向け電動式ごみ収集車 新「eパッカー」
(新型「eCanter」架装・ティエラル様納車車両)

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が公募した「木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システム構築支援事業」に対し、株式会社PEO技術士事務所及びうすきエネルギー株式会社との共同で提案を行い、このたび採択されました。

本事業では、当社製品である突き押し式成型機により、微粉を再チップ燃料化し、燃料チップ価格を実質3割程度低減させることに加え、チップの粒度選別小型乾燥機的设计・製作など、チップ製造のシステム構築を行うことで、国内の小型木質バイオマスガス化発電装置の稼働率向上を目指します。

(1)事業実施プロセスについて





変化に柔軟に対応できる、グローバルな企業へ

AIMING TO BECOME A GLOBAL COMPANY WITH FLEXIBILITY TO ADAPT TO CHANGES

本資料の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

本資料の著作権は極東開発工業株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く本資料を複製・配布することを禁止します。



極東開発グループは持続可能な
開発目標（SDGs）を支援しています。